

上 信 越 自 動 車 道

蓬 平 工 事

交 付 図 書 正 誤 表

東日本高速道路株式会社

関東支社 長野管理事務所

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考																
<p>入札公告(説明書) 4-3. 技術提案書の作成</p>	<p>4-3. 技術提案書の作成 入札者は、次に示す「技術提案書」を作成しなければならない。また、作成にあたっては、別添「技術提案書作成説明書」に従うこと。</p> <table border="1" data-bbox="481 240 1180 1013"> <thead> <tr> <th>技術提案書 (様式)</th> <th>作成にかかる留意事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技術提案書 (様式 3-1)</td> <td>◇必要事項を記載のうえ記名すること</td> </tr> <tr> <td>技術提案書 (様式 3-2-①～②)</td> <td>◇以下の評価項目毎に作成すること 評価項目①： カルバートの頂版施工に伴う対面通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数 評価項目②： 供用中の高速道路に近接した狭小ヤードにおけるコンクリート構造物 (又は基礎ぐい) 構築中の安全確保に対する留意点とその対応策 ◇評価項目①は、標準案である対面通行期間、「上下線 108 日」に対する技術提案による短縮日数を提案すること。 次の提案は加点評価対象としないものとする。 通行止を伴うもの。安全を損なうもの。実現性の低いもの。 ただし、施工不可と判断されたものを除き履行義務を負うものとする。 また、評価項目①は A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする ◇評価項目②は、2 提案までとする。2 提案を超える場合は、加点評価対象としないものとする。ただし、超過された提案 (施工不可と判断されたものは除く) も履行義務を負うものとする。なお、求める提案数に満たない場合であっても、欠格とするものではない また、1 提案毎に A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする ◇技術提案は、1 施工技術を用いた内容で提案すること。1 提案におい</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="481 1029 1180 1326"> <thead> <tr> <th>技術提案書 (様式)</th> <th>作成にかかる留意事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>て、複数の施工技術を用いた技術提案であると認められた場合は、その提案については評価しない。ただし、それぞれの施工技術が一体不可分であり、一連で機能・性能を発揮するものは、一つの施工技術とみなし評価対象とする。 【複数と認められる提案例】 提案内容：○○に関する提案 施工方法等：・××を行う ・▼▼を行う ・■■を行う</td> </tr> </tbody> </table>	技術提案書 (様式)	作成にかかる留意事項	技術提案書 (様式 3-1)	◇必要事項を記載のうえ記名すること	技術提案書 (様式 3-2-①～②)	◇以下の評価項目毎に作成すること 評価項目①： カルバートの頂版施工に伴う対面通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数 評価項目②： 供用中の高速道路に近接した狭小ヤードにおけるコンクリート構造物 (又は基礎ぐい) 構築中の安全確保に対する留意点とその対応策 ◇評価項目①は、標準案である対面通行期間、「上下線 108 日」に対する技術提案による短縮日数を提案すること。 次の提案は加点評価対象としないものとする。 通行止を伴うもの。安全を損なうもの。実現性の低いもの。 ただし、施工不可と判断されたものを除き履行義務を負うものとする。 また、評価項目①は A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする ◇評価項目②は、2 提案までとする。2 提案を超える場合は、加点評価対象としないものとする。ただし、超過された提案 (施工不可と判断されたものは除く) も履行義務を負うものとする。なお、求める提案数に満たない場合であっても、欠格とするものではない また、1 提案毎に A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする ◇技術提案は、1 施工技術を用いた内容で提案すること。1 提案におい	技術提案書 (様式)	作成にかかる留意事項		て、複数の施工技術を用いた技術提案であると認められた場合は、その提案については評価しない。ただし、それぞれの施工技術が一体不可分であり、一連で機能・性能を発揮するものは、一つの施工技術とみなし評価対象とする。 【複数と認められる提案例】 提案内容：○○に関する提案 施工方法等：・××を行う ・▼▼を行う ・■■を行う	<p>4-3. 技術提案書の作成 入札者は、次に示す「技術提案書」を作成しなければならない。また、作成にあたっては、別添「技術提案書作成説明書」に従うこと。</p> <table border="1" data-bbox="1290 240 1989 986"> <thead> <tr> <th>技術提案書 (様式)</th> <th>作成にかかる留意事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技術提案書 (様式 3-1)</td> <td>◇必要事項を記載のうえ記名すること</td> </tr> <tr> <td>技術提案書 (様式 3-2-①～②)</td> <td>◇以下の評価項目毎に作成すること 評価項目①： カルバートの頂版施工に伴う対面通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数 評価項目②： 供用中の高速道路に近接した狭小ヤードにおけるコンクリート構造物 (又は基礎ぐい) 構築中の安全確保に対する留意点とその対応策 ◇評価項目①は、標準案である対面通行期間、「上下線 108 日」に対する技術提案による短縮日数を提案すること。 次の提案は加点評価対象としないものとする。 通行止を伴うもの。安全を損なうもの。実現性の低いもの。 ただし、施工不可と判断されたものを除き履行義務を負うものとする。 また、評価項目①は A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする ◇評価項目②は、2 提案までとする。2 提案を超える場合は、加点評価対象としないものとする。ただし、超過された提案 (施工不可と判断されたものは除く) も履行義務を負うものとする。なお、求める提案数に満たない場合であっても、欠格とするものではない また、1 提案毎に A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする</td> </tr> </tbody> </table>	技術提案書 (様式)	作成にかかる留意事項	技術提案書 (様式 3-1)	◇必要事項を記載のうえ記名すること	技術提案書 (様式 3-2-①～②)	◇以下の評価項目毎に作成すること 評価項目①： カルバートの頂版施工に伴う対面通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数 評価項目②： 供用中の高速道路に近接した狭小ヤードにおけるコンクリート構造物 (又は基礎ぐい) 構築中の安全確保に対する留意点とその対応策 ◇評価項目①は、標準案である対面通行期間、「上下線 108 日」に対する技術提案による短縮日数を提案すること。 次の提案は加点評価対象としないものとする。 通行止を伴うもの。安全を損なうもの。実現性の低いもの。 ただし、施工不可と判断されたものを除き履行義務を負うものとする。 また、評価項目①は A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする ◇評価項目②は、2 提案までとする。2 提案を超える場合は、加点評価対象としないものとする。ただし、超過された提案 (施工不可と判断されたものは除く) も履行義務を負うものとする。なお、求める提案数に満たない場合であっても、欠格とするものではない また、1 提案毎に A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする	<p>訂 正</p>
技術提案書 (様式)	作成にかかる留意事項																		
技術提案書 (様式 3-1)	◇必要事項を記載のうえ記名すること																		
技術提案書 (様式 3-2-①～②)	◇以下の評価項目毎に作成すること 評価項目①： カルバートの頂版施工に伴う対面通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数 評価項目②： 供用中の高速道路に近接した狭小ヤードにおけるコンクリート構造物 (又は基礎ぐい) 構築中の安全確保に対する留意点とその対応策 ◇評価項目①は、標準案である対面通行期間、「上下線 108 日」に対する技術提案による短縮日数を提案すること。 次の提案は加点評価対象としないものとする。 通行止を伴うもの。安全を損なうもの。実現性の低いもの。 ただし、施工不可と判断されたものを除き履行義務を負うものとする。 また、評価項目①は A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする ◇評価項目②は、2 提案までとする。2 提案を超える場合は、加点評価対象としないものとする。ただし、超過された提案 (施工不可と判断されたものは除く) も履行義務を負うものとする。なお、求める提案数に満たない場合であっても、欠格とするものではない また、1 提案毎に A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする ◇技術提案は、1 施工技術を用いた内容で提案すること。1 提案におい																		
技術提案書 (様式)	作成にかかる留意事項																		
	て、複数の施工技術を用いた技術提案であると認められた場合は、その提案については評価しない。ただし、それぞれの施工技術が一体不可分であり、一連で機能・性能を発揮するものは、一つの施工技術とみなし評価対象とする。 【複数と認められる提案例】 提案内容：○○に関する提案 施工方法等：・××を行う ・▼▼を行う ・■■を行う																		
技術提案書 (様式)	作成にかかる留意事項																		
技術提案書 (様式 3-1)	◇必要事項を記載のうえ記名すること																		
技術提案書 (様式 3-2-①～②)	◇以下の評価項目毎に作成すること 評価項目①： カルバートの頂版施工に伴う対面通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数 評価項目②： 供用中の高速道路に近接した狭小ヤードにおけるコンクリート構造物 (又は基礎ぐい) 構築中の安全確保に対する留意点とその対応策 ◇評価項目①は、標準案である対面通行期間、「上下線 108 日」に対する技術提案による短縮日数を提案すること。 次の提案は加点評価対象としないものとする。 通行止を伴うもの。安全を損なうもの。実現性の低いもの。 ただし、施工不可と判断されたものを除き履行義務を負うものとする。 また、評価項目①は A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする ◇評価項目②は、2 提案までとする。2 提案を超える場合は、加点評価対象としないものとする。ただし、超過された提案 (施工不可と判断されたものは除く) も履行義務を負うものとする。なお、求める提案数に満たない場合であっても、欠格とするものではない また、1 提案毎に A4 版 1 枚 (片面) を限度とし、文字の大きさは 10 ポイント以上とする。提案書を補足する図面等は A4 版又は A3 版で 3 枚以内を標準とする。なお、技術提案の評価において設定した頁数の上限頁数を超えた場合、上限を超えていない場合よりも優位に評価しないが、上限頁数以降に記載した内容 (施工不可と判断されたものは除く) についても履行義務を負うものとする																		

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考																																																																											
<p>入札公告(説明書) 4-6. 技術提案書の採否の確認等</p>	<p>4-6. 技術提案書の採否の確認等</p> <p>(1) 契約責任者は、入札者からの技術提案書(又は改善技術提案書)に基づき、当該入札者の技術提案書の採否について確認を行い、次に示すとおりその確認結果を通知する。 ※確認結果通知 平成29年9月上旬を予定している。</p> <p>(2) 上記(1)に示す確認結果通知の内容に疑義がある入札者は、契約責任者に対し、その説明請求をすることができる。 なお、説明請求にかかる事項については、当該確認結果通知において示す。</p> <p>(3) 契約責任者は、上記(1)において技術提案書の採否の確認の他、採用するとした技術提案書の内容を次に示す基準に基づき評価する。 なお、評価した内容は、落札者決定後入札状況調書において公表を行う。</p> <table border="1" data-bbox="481 399 1176 542"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目</th> <th colspan="2">評価基準</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">技術提案</td> <td rowspan="2">交通の確保</td> <td rowspan="2">カルバートの頂版施工に伴う対面</td> <td>評価は、各評価者が短縮日数を総合的に下表の評価基準に基づき行い(採否及び評価点の付与)、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術評価項目の評定点とする。(小数第4位以下切捨て)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>評価基準</td> <td>評価点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>優</td> <td>内容が具体的に確実な効果が期待できる優れた提案である</td> <td>10,000</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="481 558 1176 885"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目</th> <th colspan="2">評価基準</th> <th>点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数</td> <td rowspan="6"></td> <td>良上</td> <td>優と良の中間の提案である</td> <td>7,500</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>内容が具体的に効果が期待できる優れた提案である</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>良下</td> <td>良と可の中間の提案である</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>可(評価無)</td> <td>内容が標準案と同程度であり効果が期待できない提案である</td> <td>0,000</td> </tr> <tr> <td>提案無不採用</td> <td>・技術提案書に技術提案を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している。 ・技術提案が不採用となり、かつ、不採用の場合に標準案による施工の意思を示している。</td> <td>0,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◇留意事項 ① 求める評価項目の技術提案の全て又は一部が、本工事の設計図書に適合しない、関連法令に抵触する若しくは本工事で採用できない場合、当該記載内容を不採用とする。 ② 求める評価項目に対する技術提案の全てを不採用とした場合 提出された</p>	評価項目		評価基準		評価点	技術提案	交通の確保	カルバートの頂版施工に伴う対面	評価は、各評価者が短縮日数を総合的に下表の評価基準に基づき行い(採否及び評価点の付与)、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術評価項目の評定点とする。(小数第4位以下切捨て)		評価	評価基準	評価点			優	内容が具体的に確実な効果が期待できる優れた提案である	10,000	評価項目		評価基準		点	通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数		良上	優と良の中間の提案である	7,500	良	内容が具体的に効果が期待できる優れた提案である	5,000	良下	良と可の中間の提案である	2,500	可(評価無)	内容が標準案と同程度であり効果が期待できない提案である	0,000	提案無不採用	・技術提案書に技術提案を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している。 ・技術提案が不採用となり、かつ、不採用の場合に標準案による施工の意思を示している。	0,000					<p>4-6. 技術提案書の採否の確認等</p> <p>(1) 契約責任者は、入札者からの技術提案書(又は改善技術提案書)に基づき、当該入札者の技術提案書の採否について確認を行い、次に示すとおりその確認結果を通知する。 ※確認結果通知 平成29年9月上旬を予定している。</p> <p>(2) 上記(1)に示す確認結果通知の内容に疑義がある入札者は、契約責任者に対し、その説明請求をすることができる。 なお、説明請求にかかる事項については、当該確認結果通知において示す。</p> <p>(3) 契約責任者は、上記(1)において技術提案書の採否の確認の他、採用するとした技術提案書の内容を次に示す基準に基づき評価する。 なお、評価した内容は、落札者決定後入札状況調書において公表を行う。</p> <table border="1" data-bbox="1288 391 1982 805"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価項目</th> <th colspan="2">評価基準</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">技術提案</td> <td rowspan="7">交通の確保</td> <td rowspan="7">カルバートの頂版施工に伴う対面通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数</td> <td>評価は、各評価者が短縮日数を総合的に下表の評価基準に基づき行い(採否及び評価点の付与)、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術評価項目の評定点とする。(小数第4位以下切捨て)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>評価基準</td> <td>評価点</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>内容が具体的に確実な効果が期待できる優れた提案である</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>良上</td> <td>優と良の中間の提案である</td> <td>7,500</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>内容が具体的に効果が期待できる優れた提案である</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>良下</td> <td>良と可の中間の提案である</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>可(評価無)</td> <td>内容が標準案と同程度であり効果が期待できない提案である</td> <td>0,000</td> </tr> <tr> <td>提案無不採用</td> <td>・技術提案書に技術提案を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している。 ・技術提案が不採用となり、かつ、不採用の場合に標準案による施工の意思を示している。</td> <td>0,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇評価点の算出 短縮日数の総合的な評価は下記により行うものとする 「妥当性による評価値 A」 規制期間の短縮手法の妥当性・適合性を上表により優・良上・良・良下・可・不適合の6段階で評価し各評価の評価値を算出する 「短縮日数による評価値 B」 提出された技術提案により短縮日数の最も多い日数の提案を行った者に10点を付与し短縮日数がないとしたものを0点としその他の者は提案された短縮日数に応じて単純比例の数値方式で評価する。 「妥当性による評価値A」×「短縮日数による評価値B」/10=評価点</p> <p>◇留意事項 ① 求める評価項目の技術提案の全て又は一部が、本工事の設計図書に適合しない、関連法令に抵触する若しくは本工事で採用できない場合、当該記載内容を不採用とする。 ② 求める評価項目に対する技術提案の全てを不採用とした場合 提出された</p>	評価項目		評価基準		評価点	技術提案	交通の確保	カルバートの頂版施工に伴う対面通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数	評価は、各評価者が短縮日数を総合的に下表の評価基準に基づき行い(採否及び評価点の付与)、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術評価項目の評定点とする。(小数第4位以下切捨て)		評価	評価基準	評価点	優	内容が具体的に確実な効果が期待できる優れた提案である	10,000	良上	優と良の中間の提案である	7,500	良	内容が具体的に効果が期待できる優れた提案である	5,000	良下	良と可の中間の提案である	2,500	可(評価無)	内容が標準案と同程度であり効果が期待できない提案である	0,000	提案無不採用	・技術提案書に技術提案を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している。 ・技術提案が不採用となり、かつ、不採用の場合に標準案による施工の意思を示している。	0,000	<p>訂 正</p>
評価項目		評価基準		評価点																																																																										
技術提案	交通の確保	カルバートの頂版施工に伴う対面	評価は、各評価者が短縮日数を総合的に下表の評価基準に基づき行い(採否及び評価点の付与)、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術評価項目の評定点とする。(小数第4位以下切捨て)																																																																											
			評価	評価基準	評価点																																																																									
		優	内容が具体的に確実な効果が期待できる優れた提案である	10,000																																																																										
評価項目		評価基準		点																																																																										
通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数		良上	優と良の中間の提案である	7,500																																																																										
		良	内容が具体的に効果が期待できる優れた提案である	5,000																																																																										
		良下	良と可の中間の提案である	2,500																																																																										
		可(評価無)	内容が標準案と同程度であり効果が期待できない提案である	0,000																																																																										
		提案無不採用	・技術提案書に技術提案を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している。 ・技術提案が不採用となり、かつ、不採用の場合に標準案による施工の意思を示している。	0,000																																																																										
評価項目		評価基準		評価点																																																																										
技術提案	交通の確保	カルバートの頂版施工に伴う対面通行規制の期間短縮に関する技術提案とその短縮日数	評価は、各評価者が短縮日数を総合的に下表の評価基準に基づき行い(採否及び評価点の付与)、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術評価項目の評定点とする。(小数第4位以下切捨て)																																																																											
			評価	評価基準	評価点																																																																									
			優	内容が具体的に確実な効果が期待できる優れた提案である	10,000																																																																									
			良上	優と良の中間の提案である	7,500																																																																									
			良	内容が具体的に効果が期待できる優れた提案である	5,000																																																																									
			良下	良と可の中間の提案である	2,500																																																																									
			可(評価無)	内容が標準案と同程度であり効果が期待できない提案である	0,000																																																																									
提案無不採用	・技術提案書に技術提案を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している。 ・技術提案が不採用となり、かつ、不採用の場合に標準案による施工の意思を示している。	0,000																																																																												

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考														
<p>入札公告(説明書) 4-6. 技術提案書の採否の確認等</p>	<p>◇留意事項</p> <p>① 求める評価項目の技術提案の全て又は一部が、本工事の設計図書に適合しない、関連法令に抵触する若しくは本工事で採用できない場合、当該記載内容を不採用とする。</p> <p>② 求める評価項目に対する技術提案の全てを不採用とした場合、提出された技術提案書で示されている不採用の場合の意向に従い対処するものとする。</p> <p>③ 技術提案の一部を不採用とした場合、当該箇所を除いた記載内容に対して評価点を付与する。</p> <p>④ 不採用とした以外のすべての技術提案は履行義務を負うものとする。</p> <p>⑤ 標準案である対面通行期間、「上下線 108 日」に対する技術提案による短縮日数を提案すること。 次の提案は加算評価対象としないものとする。 通行止を伴うもの。安全を損なうもの。実現性の低いもの。 ただし、施工不可と判断されたものを除き履行義務を負うものとする。</p> <p>⑥ 1つの技術提案が、1つの施工技術を用いた内容となっておらず、複数の施工技術を用いた内容であると認められる場合は、当該技術提案は評価の対象としない。ただし、それぞれの施工技術が一体不可分であり、一連で機能・性能を発揮するものは、一つの施工技術とみなし評価対象とする。</p> <p>【複数と認められる提案例】 提案内容：○○に関する提案 施工方法等：・××を行う ・▼▼を行う ・■■を行う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <p>異なる着目点、施工段階及び対象に対する複数の施工技術を用いる提案や、個別の施工技術を複数組合せることにより、より効果を高める提案。</p> </div>	<p>◇留意事項</p> <p>① 求める評価項目の技術提案の全て又は一部が、本工事の設計図書に適合しない、関連法令に抵触する若しくは本工事で採用できない場合、当該記載内容を不採用とする。</p> <p>② 求める評価項目に対する技術提案の全てを不採用とした場合、提出された技術提案書で示されている不採用の場合の意向に従い対処するものとする。</p> <p>③ 技術提案の一部を不採用とした場合、当該箇所を除いた記載内容に対して評価点を付与する。</p> <p>④ 不採用とした以外のすべての技術提案は履行義務を負うものとする。</p> <p>⑤ 標準案である対面通行期間、「上下線 108 日」に対する技術提案による短縮日数を提案すること。 次の提案は加算評価対象としないものとする。 通行止を伴うもの。安全を損なうもの。実現性の低いもの。 ただし、施工不可と判断されたものを除き履行義務を負うものとする。</p> <p>技術提案</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">特別な安全対策</td> <td style="width: 10%;">供用中の高速道路に近接した狭小ヤード</td> <td style="width: 50%;">評価は、1提案毎に各評価者が下表の評価基準に基づき行い（採否及び評価点の付与）、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術評価項目の評定点とする。（小数第4位以下切捨て）</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価</th> <th style="width: 70%;">評価基準</th> <th style="width: 20%;">評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">優</td> <td>内容が具体的で確実な効果が期待できる優れた提案である</td> <td style="text-align: center;">5.000点</td> </tr> </tbody> </table> </td> <td></td> </tr> </table>	特別な安全対策	供用中の高速道路に近接した狭小ヤード	評価は、1提案毎に各評価者が下表の評価基準に基づき行い（採否及び評価点の付与）、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術評価項目の評定点とする。（小数第4位以下切捨て）				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価</th> <th style="width: 70%;">評価基準</th> <th style="width: 20%;">評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">優</td> <td>内容が具体的で確実な効果が期待できる優れた提案である</td> <td style="text-align: center;">5.000点</td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価基準	評価点	優	内容が具体的で確実な効果が期待できる優れた提案である	5.000点		<p>訂 正</p>
特別な安全対策	供用中の高速道路に近接した狭小ヤード	評価は、1提案毎に各評価者が下表の評価基準に基づき行い（採否及び評価点の付与）、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術評価項目の評定点とする。（小数第4位以下切捨て）															
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価</th> <th style="width: 70%;">評価基準</th> <th style="width: 20%;">評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">優</td> <td>内容が具体的で確実な効果が期待できる優れた提案である</td> <td style="text-align: center;">5.000点</td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価基準	評価点	優	内容が具体的で確実な効果が期待できる優れた提案である	5.000点									
評価	評価基準	評価点															
優	内容が具体的で確実な効果が期待できる優れた提案である	5.000点															

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対象	誤	正	備考										
金抜設計書 No.21,112,113,115,116,174~177	<table border="1"> <tr> <td>21</td> <td>5-(1)</td> <td>用・排水溝 U'(GL2)+0.45-0.45(F)</td> <td>3</td> <td>m</td> </tr> </table>	21	5-(1)	用・排水溝 U'(GL2)+0.45-0.45(F)	3	m	<table border="1"> <tr> <td>21</td> <td>5-(1)</td> <td>用・排水溝 U'(GL2)+0.30-0.30(F)</td> <td>3</td> <td>m</td> </tr> </table>	21	5-(1)	用・排水溝 U'(GL2)+0.30-0.30(F)	3	m	訂正
	21	5-(1)	用・排水溝 U'(GL2)+0.45-0.45(F)	3	m								
	21	5-(1)	用・排水溝 U'(GL2)+0.30-0.30(F)	3	m								
	<table border="1"> <tr> <td>112</td> <td>19-(1)</td> <td>交通規制工 対面交通規制A</td> <td>1</td> <td>回</td> </tr> </table>	112	19-(1)	交通規制工 対面交通規制A	1	回	<table border="1"> <tr> <td>112</td> <td>19-(1)</td> <td>交通規制工 対面交通規制A</td> <td>1</td> <td>式</td> </tr> </table>	112	19-(1)	交通規制工 対面交通規制A	1	式	
	112	19-(1)	交通規制工 対面交通規制A	1	回								
	112	19-(1)	交通規制工 対面交通規制A	1	式								
	<table border="1"> <tr> <td>113</td> <td>19-(1)</td> <td>交通規制工 対面交通規制B</td> <td>1</td> <td>回</td> </tr> </table>	113	19-(1)	交通規制工 対面交通規制B	1	回	<table border="1"> <tr> <td>113</td> <td>19-(1)</td> <td>交通規制工 対面交通規制B</td> <td>1</td> <td>式</td> </tr> </table>	113	19-(1)	交通規制工 対面交通規制B	1	式	
	113	19-(1)	交通規制工 対面交通規制B	1	回								
	113	19-(1)	交通規制工 対面交通規制B	1	式								
	<table border="1"> <tr> <td>114</td> <td>19-(1)</td> <td>交通規制工 夜間通行止</td> <td>1</td> <td>回</td> </tr> </table>	114	19-(1)	交通規制工 夜間通行止	1	回	<table border="1"> <tr> <td>114</td> <td>19-(1)</td> <td>交通規制工 夜間通行止</td> <td>1</td> <td>回</td> </tr> </table>	114	19-(1)	交通規制工 夜間通行止	1	回	
	114	19-(1)	交通規制工 夜間通行止	1	回								
	114	19-(1)	交通規制工 夜間通行止	1	回								
	<table border="1"> <tr> <td>115</td> <td>19-(2)</td> <td>交通保安要員 交通監視員A</td> <td>1,364</td> <td>人・日</td> </tr> </table>	115	19-(2)	交通保安要員 交通監視員A	1,364	人・日	<table border="1"> <tr> <td>115</td> <td>19-(2)</td> <td>交通保安要員 交通監視員A</td> <td>1,148</td> <td>人・日</td> </tr> </table>	115	19-(2)	交通保安要員 交通監視員A	1,148	人・日	
	115	19-(2)	交通保安要員 交通監視員A	1,364	人・日								
	115	19-(2)	交通保安要員 交通監視員A	1,148	人・日								
	<table border="1"> <tr> <td>116</td> <td>19-(2)</td> <td>交通保安要員 交通監視員A(夜)</td> <td>362</td> <td>人・日</td> </tr> </table>	116	19-(2)	交通保安要員 交通監視員A(夜)	362	人・日	<table border="1"> <tr> <td>116</td> <td>19-(2)</td> <td>交通保安要員 交通監視員A(夜)</td> <td>146</td> <td>人・日</td> </tr> </table>	116	19-(2)	交通保安要員 交通監視員A(夜)	146	人・日	
	116	19-(2)	交通保安要員 交通監視員A(夜)	362	人・日								
116	19-(2)	交通保安要員 交通監視員A(夜)	146	人・日									
<table border="1"> <tr> <td>174</td> <td>特-(11)</td> <td>交通安全対策工 仮設防護柵移設</td> <td>4,063</td> <td>m</td> </tr> </table>	174	特-(11)	交通安全対策工 仮設防護柵移設	4,063	m	<table border="1"> <tr> <td>174</td> <td>特-(11)</td> <td>交通安全対策工 仮設防護柵移設</td> <td>5,137</td> <td>m</td> </tr> </table>	174	特-(11)	交通安全対策工 仮設防護柵移設	5,137	m		
174	特-(11)	交通安全対策工 仮設防護柵移設	4,063	m									
174	特-(11)	交通安全対策工 仮設防護柵移設	5,137	m									
<table border="1"> <tr> <td>175</td> <td>特-(11)</td> <td>交通安全対策工 仮設防護柵撤去</td> <td>6,211</td> <td>m</td> </tr> </table>	175	特-(11)	交通安全対策工 仮設防護柵撤去	6,211	m	<table border="1"> <tr> <td>175</td> <td>特-(11)</td> <td>交通安全対策工 仮設防護柵撤去</td> <td>4,127</td> <td>m</td> </tr> </table>	175	特-(11)	交通安全対策工 仮設防護柵撤去	4,127	m		
175	特-(11)	交通安全対策工 仮設防護柵撤去	6,211	m									
175	特-(11)	交通安全対策工 仮設防護柵撤去	4,127	m									
<table border="1"> <tr> <td>176</td> <td>特-(11)</td> <td>交通安全対策工 車線分離標設置</td> <td>126</td> <td>本</td> </tr> </table>	176	特-(11)	交通安全対策工 車線分離標設置	126	本	<table border="1"> <tr> <td>176</td> <td>特-(11)</td> <td>交通安全対策工 車線分離標設置</td> <td>155</td> <td>本</td> </tr> </table>	176	特-(11)	交通安全対策工 車線分離標設置	155	本		
176	特-(11)	交通安全対策工 車線分離標設置	126	本									
176	特-(11)	交通安全対策工 車線分離標設置	155	本									
<table border="1"> <tr> <td>177</td> <td>特-(11)</td> <td>交通安全対策工 車線分離標撤去</td> <td>126</td> <td>本</td> </tr> </table>	177	特-(11)	交通安全対策工 車線分離標撤去	126	本	<table border="1"> <tr> <td>177</td> <td>特-(11)</td> <td>交通安全対策工 車線分離標撤去</td> <td>155</td> <td>本</td> </tr> </table>	177	特-(11)	交通安全対策工 車線分離標撤去	155	本		
177	特-(11)	交通安全対策工 車線分離標撤去	126	本									
177	特-(11)	交通安全対策工 車線分離標撤去	155	本									

数量表(2)		上信越自動車道 蓬平工事														
品名	単位	単位換算係数														
		P+L	P+L(OSD)	U'(GL2)	RG	PCV(1)	RCV	D+・B・I	D+・Vp	E・V	P(O)・I	OSD	OSD	R(A)	C(A)	OSD
1	100m	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0
2	100m	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
3	100m	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

A部拡大:		
B f	U'(GL2)	RG
0.30・0.20	0.45・0.45(F)	0.50・0.10
m	m	m

数量表(2)		上信越自動車道 蓬平工事														
品名	単位	単位換算係数														
		P+L	P+L(OSD)	U'(GL2)	RG	PCV(1)	RCV	D+・B・I	D+・Vp	E・V	P(O)・I	OSD	OSD	R(A)	C(A)	OSD
1	100m	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0
2	100m	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
3	100m	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

A部拡大:		
B f	U'(GL2)	RG
0.30・0.20	0.30・0.30(F)	0.50・0.10
m	m	m

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対象
数量表 (9)

誤

項目	品名	交通規制工										計10	計11	計12		
		交通規制工														
		対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T					
1	対面規制(60日間) (60日)															
2	対面規制(48日間) (48日)															
3	対面規制(60日) (60日)	200	200	200	200	200										
計																

A部拡大:

対面交通規制 A	対面交通規制 B
60日間 回	48日間 回

B部拡大:

1,364	362
-------	-----

C部拡大:

1,364	362
-------	-----

正

項目	品名	交通規制工										計10	計11	計12		
		交通規制工														
		対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T	対面規制 T+1+T					
1	対面規制(60日間) (60日)															
2	対面規制(48日間) (48日)															
3	対面規制(60日) (60日)	200	200	200	200	200										
計																

A部拡大:

対面交通規制 A	対面交通規制 B
60日間 式	48日間 式

B部拡大:

1,148	146
-------	-----

C部拡大:

1,148	146
-------	-----

備考
訂正

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対象

誤

正

備考

数量表 (13)

品名	単位	数量	原-10				原-11				原-12									
			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D						
1	1000	1																		
2	1000	1																		
3	1000	1																		
合計																				

A部拡大:

1,779.0	2,853.0	63	63
---------	---------	----	----

B部拡大:

2,284.0	3,358.0	63	63
---------	---------	----	----

C部拡大:

4,063.0	6,211.0	126	126
---------	---------	-----	-----

品名	単位	数量	原-10				原-11				原-12									
			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D						
1	1000	1																		
2	1000	1																		
3	1000	1																		
合計																				

A部拡大:

2,853.0	2,348.0	79	79
---------	---------	----	----

B部拡大:

2,284.0	1,779.0	76	76
---------	---------	----	----

C部拡大:

5,137.0	4,127.0	155	155
---------	---------	-----	-----

訂正

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考																																																																																																																					
<p>特記仕様書 目次</p>	<p>1. 工事概要 1 2. 適用する共通仕様書 1 3. 監督員、主任補助監督員及び補助監督員の権限 1 4. 配置技術者に関する事項 3 5. 設計業務の資格 4 6. 工事用地等に関する事項 5 7. 自工区外盛土場に関する事項 6 8. 関連施設その他の関係 7 9. 作業日及び作業期間に関する事項 8 10. 関連工事に関する事項 10 11. 初期点検の実施 10 12. 工程表及び履行報告に関する事項 11 13. 工事用道路に関する事項 12 14. 工事用材料に関する事項 13 15. 貸与品に関する事項 13 16. 残存物件の処理に関する事項 13 17. 保安に関する事項 14 18. 環境保全に関する事項 18 19. 再生資源及び建設副産物の活用 19 20. 部分使用に関する事項 21 21. 建設現場のイメージアップ 21 22. 業務用プレート等に関する事項 21 23. 三者協議会に関する事項 21 24. 工事細部に関する事項 23 25. 補足事項 66</p>	<p>1. 工事概要 1 2. 適用する共通仕様書 1 3. 監督員、主任補助監督員及び補助監督員の権限 1 4. 配置技術者に関する事項 3 5. 設計業務の資格 4 6. 工事用地等に関する事項 5 7. 自工区外盛土場に関する事項 6 8. 関連施設その他の関係 7 9. 作業日及び作業期間に関する事項 8 10. 関連工事に関する事項 10 11. 初期点検の実施 10 12. 工程表及び履行報告に関する事項 11 13. 工事用道路に関する事項 12 14. 工事用材料に関する事項 13 15. 貸与品に関する事項 13 16. 残存物件の処理に関する事項 14 17. 保安に関する事項 14 18. 環境保全に関する事項 19 19. 再生資源及び建設副産物の活用 19 20. 部分使用に関する事項 21 21. 建設現場のイメージアップ 21 22. 業務用プレート等に関する事項 22 23. 三者協議会に関する事項 22 24. 工事細部に関する事項 23 25. 補足事項 67</p>	<p>訂 正</p>																																																																																																																					
<p>特記仕様書 9-2</p>	<p>9-2 夜間作業 単価表の項目において(夜)と表記されているもの、既設跨道橋撤去工及び対面交通規制の巡回作業については、共通仕様書1-13の規定にかかわらず夜間作業を行うことができるものとする。</p>	<p>9-2 夜間作業 単価表の項目において(夜)と表記されているもの、既設跨道橋撤去工及び対面交通規制の巡回作業及び技術提案内容で夜間施工が認められたものについては、共通仕様書1-13の規定にかかわらず夜間作業を行うことができるものとする。</p>	<p>訂 正</p>																																																																																																																					
<p>特記仕様書 9-5</p>	<p>9-5 対面通行規制</p> <table border="1" data-bbox="481 1029 1142 1085"> <thead> <tr> <th>時期(予定)</th> <th>時間帯</th> <th>区 間</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年5月19日</td> <td>日中夜間</td> <td>上信越自動車道</td> <td>全線閉鎖(加勢詰)</td> </tr> </tbody> </table>	時期(予定)	時間帯	区 間	摘 要	平成29年5月19日	日中夜間	上信越自動車道	全線閉鎖(加勢詰)	<p>9-5 対面交通規制</p> <table border="1" data-bbox="1288 1029 1948 1085"> <thead> <tr> <th>時期(予定)</th> <th>時間帯</th> <th>区 間</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年5月19日</td> <td>日中夜間</td> <td>上信越自動車道</td> <td>全線閉鎖(加勢詰)</td> </tr> </tbody> </table>	時期(予定)	時間帯	区 間	摘 要	平成29年5月19日	日中夜間	上信越自動車道	全線閉鎖(加勢詰)	<p>訂 正</p>																																																																																																					
時期(予定)	時間帯	区 間	摘 要																																																																																																																					
平成29年5月19日	日中夜間	上信越自動車道	全線閉鎖(加勢詰)																																																																																																																					
時期(予定)	時間帯	区 間	摘 要																																																																																																																					
平成29年5月19日	日中夜間	上信越自動車道	全線閉鎖(加勢詰)																																																																																																																					
<p>特記仕様書 13-1</p>	<table border="1" data-bbox="481 1149 1142 1316"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>路線名又は場所</th> <th>巾員</th> <th>延長</th> <th>路面</th> <th>用地</th> <th>使用開始時期</th> <th>施工者</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>町道06-41号線 町道06-43号線</td> <td>4m</td> <td>2,500m</td> <td>舗装</td> <td>無償</td> <td></td> <td>—</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>蓬平工事用道路</td> <td>4m</td> <td>200m</td> <td>舗装</td> <td>無償</td> <td></td> <td>当該工事</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>上信越自動車道</td> <td>7m</td> <td>20,200m</td> <td>舗装</td> <td>無償</td> <td></td> <td>—</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>長野自動車道</td> <td>7m</td> <td>900m</td> <td>舗装</td> <td>無償</td> <td></td> <td>—</td> <td>既設</td> </tr> </tbody> </table>	番号	路線名又は場所	巾員	延長	路面	用地	使用開始時期	施工者	備考	1	町道06-41号線 町道06-43号線	4m	2,500m	舗装	無償		—	既設	2	蓬平工事用道路	4m	200m	舗装	無償		当該工事	新設	3	上信越自動車道	7m	20,200m	舗装	無償		—	既設	4	長野自動車道	7m	900m	舗装	無償		—	既設	<table border="1" data-bbox="1288 1149 1948 1396"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>路線名又は場所</th> <th>巾員</th> <th>延長</th> <th>路面</th> <th>用地</th> <th>使用開始時期</th> <th>施工者</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>町道06-41、06-43、 01-67号線</td> <td>4m</td> <td>1,700m</td> <td>舗装</td> <td>無償</td> <td></td> <td>—</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>町道A03号線</td> <td>4m</td> <td>1,100m</td> <td>舗装</td> <td>無償</td> <td></td> <td>—</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>国道18号</td> <td>7m</td> <td>1,200m</td> <td>舗装</td> <td>無償</td> <td></td> <td>—</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>県道91号</td> <td>7m</td> <td>1,500m</td> <td>舗装</td> <td>無償</td> <td></td> <td>—</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>蓬平工事用道路</td> <td>4m</td> <td>200m</td> <td>舗装</td> <td>無償</td> <td></td> <td>当該工事</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>上信越自動車道</td> <td>7m</td> <td>20,200m</td> <td>舗装</td> <td>無償</td> <td></td> <td>—</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>長野自動車道</td> <td>7m</td> <td>900m</td> <td>舗装</td> <td>無償</td> <td></td> <td>—</td> <td>既設</td> </tr> </tbody> </table>	番号	路線名又は場所	巾員	延長	路面	用地	使用開始時期	施工者	備考	1	町道06-41、06-43、 01-67号線	4m	1,700m	舗装	無償		—	既設	2	町道A03号線	4m	1,100m	舗装	無償		—	既設	3	国道18号	7m	1,200m	舗装	無償		—	既設	4	県道91号	7m	1,500m	舗装	無償		—	既設	5	蓬平工事用道路	4m	200m	舗装	無償		当該工事	新設	6	上信越自動車道	7m	20,200m	舗装	無償		—	既設	7	長野自動車道	7m	900m	舗装	無償		—	既設	<p>訂 正</p>
番号	路線名又は場所	巾員	延長	路面	用地	使用開始時期	施工者	備考																																																																																																																
1	町道06-41号線 町道06-43号線	4m	2,500m	舗装	無償		—	既設																																																																																																																
2	蓬平工事用道路	4m	200m	舗装	無償		当該工事	新設																																																																																																																
3	上信越自動車道	7m	20,200m	舗装	無償		—	既設																																																																																																																
4	長野自動車道	7m	900m	舗装	無償		—	既設																																																																																																																
番号	路線名又は場所	巾員	延長	路面	用地	使用開始時期	施工者	備考																																																																																																																
1	町道06-41、06-43、 01-67号線	4m	1,700m	舗装	無償		—	既設																																																																																																																
2	町道A03号線	4m	1,100m	舗装	無償		—	既設																																																																																																																
3	国道18号	7m	1,200m	舗装	無償		—	既設																																																																																																																
4	県道91号	7m	1,500m	舗装	無償		—	既設																																																																																																																
5	蓬平工事用道路	4m	200m	舗装	無償		当該工事	新設																																																																																																																
6	上信越自動車道	7m	20,200m	舗装	無償		—	既設																																																																																																																
7	長野自動車道	7m	900m	舗装	無償		—	既設																																																																																																																

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対象	誤	正	備考																																																																																
<p>特記仕様書 13-2</p>	<p>13-2 工事用道路の使用条件 上記の工事用道路の使用状況は次の通りである。</p> <table border="1" data-bbox="488 220 1142 480"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>路線名又は場所</th> <th>土運搬可能時間</th> <th>資機材搬入 作業可能時間</th> <th>土曜日、日曜日 及び祝日の 使用及び時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>町道 06-41 号線 町道 06-43 号線</td> <td>9時～17時</td> <td>8時～18時</td> <td>土曜日可 ※日曜日及び祝日の使用については別途協議</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>蓬平工事用道路</td> <td>使用不可</td> <td>8時～18時</td> <td>土曜日可 ※日曜日及び祝日の使用については別途協議</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>上信越自動車道</td> <td>終日</td> <td>終日</td> <td>終日可能</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>長野自動車道</td> <td>終日</td> <td>終日</td> <td>終日可能</td> </tr> </tbody> </table>	番号	路線名又は場所	土運搬可能時間	資機材搬入 作業可能時間	土曜日、日曜日 及び祝日の 使用及び時間	1	町道 06-41 号線 町道 06-43 号線	9時～17時	8時～18時	土曜日可 ※日曜日及び祝日の使用については別途協議	2	蓬平工事用道路	使用不可	8時～18時	土曜日可 ※日曜日及び祝日の使用については別途協議	3	上信越自動車道	終日	終日	終日可能	4	長野自動車道	終日	終日	終日可能	<p>13-2 工事用道路の使用条件 上記の工事用道路の使用状況は次の通りである。</p> <table border="1" data-bbox="1296 220 1951 504"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>路線名又は場所</th> <th>土運搬可能時間</th> <th>資機材搬入 作業可能時間</th> <th>土曜日、日曜日 及び祝日の 使用及び時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>町道 06-41、06-43、 01-67 号線</td> <td>9時～17時</td> <td>8時～18時</td> <td>土曜日可 ※日曜日及び祝日の使用については別途協議</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>町道 A03 号線</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>国道 18 号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>県道 91 号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>蓬平工事用道路</td> <td>使用不可</td> <td>8時～18時</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>上信越自動車道</td> <td>終日</td> <td>終日</td> <td>終日可能</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>長野自動車道</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	路線名又は場所	土運搬可能時間	資機材搬入 作業可能時間	土曜日、日曜日 及び祝日の 使用及び時間	1	町道 06-41、06-43、 01-67 号線	9時～17時	8時～18時	土曜日可 ※日曜日及び祝日の使用については別途協議	2	町道 A03 号線				3	国道 18 号				4	県道 91 号				5	蓬平工事用道路	使用不可	8時～18時		6	上信越自動車道	終日	終日	終日可能	7	長野自動車道				<p>訂正</p>															
番号	路線名又は場所	土運搬可能時間	資機材搬入 作業可能時間	土曜日、日曜日 及び祝日の 使用及び時間																																																																															
1	町道 06-41 号線 町道 06-43 号線	9時～17時	8時～18時	土曜日可 ※日曜日及び祝日の使用については別途協議																																																																															
2	蓬平工事用道路	使用不可	8時～18時	土曜日可 ※日曜日及び祝日の使用については別途協議																																																																															
3	上信越自動車道	終日	終日	終日可能																																																																															
4	長野自動車道	終日	終日	終日可能																																																																															
番号	路線名又は場所	土運搬可能時間	資機材搬入 作業可能時間	土曜日、日曜日 及び祝日の 使用及び時間																																																																															
1	町道 06-41、06-43、 01-67 号線	9時～17時	8時～18時	土曜日可 ※日曜日及び祝日の使用については別途協議																																																																															
2	町道 A03 号線																																																																																		
3	国道 18 号																																																																																		
4	県道 91 号																																																																																		
5	蓬平工事用道路	使用不可	8時～18時																																																																																
6	上信越自動車道	終日	終日	終日可能																																																																															
7	長野自動車道																																																																																		
<p>特記仕様書 13-3(1)</p>	<p>13-3 工事用道路の維持・補修 (1) 本特記仕様書 13-1 に示す番号 2 の散水・清掃等の維持は受注者が行うものとし、これに要する費用については関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。 なお、補修の必要が生じ監督員が指示した場合は、その指示に従わなければならない。これに要する費用については監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p>	<p>13-3 工事用道路の維持・補修 (1) 本特記仕様書 13-1 に示す番号 5 の散水・清掃等の維持は受注者が行うものとし、これに要する費用については関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。 なお、補修の必要が生じ監督員が指示した場合は、その指示に従わなければならない。これに要する費用については監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p>	<p>訂正</p>																																																																																
<p>特記仕様書 19-1(1)</p>	<p>19-1 再生資材の使用 (1) 再生資材は、次に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。</p> <table border="1" data-bbox="488 802 1142 1326"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>再生資材の種類</th> <th>数量</th> <th>摘要指針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-(5) 盛土工 盛土工 B 1</td> <td>建設発生土</td> <td>約 600m³</td> <td>他工事発生土の流用 発生位置：164KP 付近</td> </tr> <tr> <td>4-(14) コンクリート⁷ ロック積工 コンクリート⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 7m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4-(14) コンクリート⁷ ロック積工 大型コンクリート⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 68m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4-(16) 裏込め砕石</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 74m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4-(17) 基礎工 コンクリート基礎工 B (F)</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 64m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-(1) 用・排水溝 U⁷(GL2)・0.45・0.45(F)</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 1m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18-(3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工 (t=10 cm)</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 1110m²</td> <td>舗装再生便覧 (社) 日本道路協会</td> </tr> <tr> <td>18-(3) 簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t=5 cm)</td> <td>表層用再生加熱 アスファルト混合物</td> <td>約 1110m²</td> <td>舗装再生便覧 (社) 日本道路協会</td> </tr> <tr> <td>特-(5) 立坑土留工 A、B、C、D、E、F、G</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 25m³</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	再生資材の種類	数量	摘要指針等	2-(5) 盛土工 盛土工 B 1	建設発生土	約 600m ³	他工事発生土の流用 発生位置：164KP 付近	4-(14) コンクリート ⁷ ロック積工 コンクリート ⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A	再生クラッシュラン (RC40)	約 7m ³		4-(14) コンクリート ⁷ ロック積工 大型コンクリート ⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A	再生クラッシュラン (RC40)	約 68m ³		4-(16) 裏込め砕石	再生クラッシュラン (RC40)	約 74m ³		4-(17) 基礎工 コンクリート基礎工 B (F)	再生クラッシュラン (RC40)	約 64m ³		5-(1) 用・排水溝 U ⁷ (GL2)・0.45・0.45(F)	再生クラッシュラン (RC40)	約 1m ³		18-(3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工 (t=10 cm)	再生クラッシュラン (RC40)	約 1110m ²	舗装再生便覧 (社) 日本道路協会	18-(3) 簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t=5 cm)	表層用再生加熱 アスファルト混合物	約 1110m ²	舗装再生便覧 (社) 日本道路協会	特-(5) 立坑土留工 A、B、C、D、E、F、G	再生クラッシュラン (RC40)	約 25m ³		<p>19-1 再生資材の使用 (1) 再生資材は、次に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。</p> <table border="1" data-bbox="1296 802 1951 1326"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>再生資材の種類</th> <th>数量</th> <th>摘要指針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-(5) 盛土工 盛土工 B 1</td> <td>建設発生土</td> <td>約 600m³</td> <td>他工事発生土の流用 発生位置：164KP 付近</td> </tr> <tr> <td>4-(14) コンクリート⁷ ロック積工 コンクリート⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 7m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4-(14) コンクリート⁷ ロック積工 大型コンクリート⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 68m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4-(16) 裏込め砕石</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 74m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4-(17) 基礎工 コンクリート基礎工 B (F)</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 64m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-(1) 用・排水溝 U⁷(GL2)・0.30・0.30(F)</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 1m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18-(3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工 (t=10 cm)</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 1110m²</td> <td>舗装再生便覧 (社) 日本道路協会</td> </tr> <tr> <td>18-(3) 簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t=5 cm)</td> <td>表層用再生加熱 アスファルト混合物</td> <td>約 1110m²</td> <td>舗装再生便覧 (社) 日本道路協会</td> </tr> <tr> <td>特-(5) 立坑土留工 A、B、C、D、E、F、G</td> <td>再生クラッシュラン (RC40)</td> <td>約 25m³</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	再生資材の種類	数量	摘要指針等	2-(5) 盛土工 盛土工 B 1	建設発生土	約 600m ³	他工事発生土の流用 発生位置：164KP 付近	4-(14) コンクリート ⁷ ロック積工 コンクリート ⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A	再生クラッシュラン (RC40)	約 7m ³		4-(14) コンクリート ⁷ ロック積工 大型コンクリート ⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A	再生クラッシュラン (RC40)	約 68m ³		4-(16) 裏込め砕石	再生クラッシュラン (RC40)	約 74m ³		4-(17) 基礎工 コンクリート基礎工 B (F)	再生クラッシュラン (RC40)	約 64m ³		5-(1) 用・排水溝 U ⁷ (GL2)・0.30・0.30(F)	再生クラッシュラン (RC40)	約 1m ³		18-(3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工 (t=10 cm)	再生クラッシュラン (RC40)	約 1110m ²	舗装再生便覧 (社) 日本道路協会	18-(3) 簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t=5 cm)	表層用再生加熱 アスファルト混合物	約 1110m ²	舗装再生便覧 (社) 日本道路協会	特-(5) 立坑土留工 A、B、C、D、E、F、G	再生クラッシュラン (RC40)	約 25m ³		<p>訂正</p>
単価表の項目	再生資材の種類	数量	摘要指針等																																																																																
2-(5) 盛土工 盛土工 B 1	建設発生土	約 600m ³	他工事発生土の流用 発生位置：164KP 付近																																																																																
4-(14) コンクリート ⁷ ロック積工 コンクリート ⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A	再生クラッシュラン (RC40)	約 7m ³																																																																																	
4-(14) コンクリート ⁷ ロック積工 大型コンクリート ⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A	再生クラッシュラン (RC40)	約 68m ³																																																																																	
4-(16) 裏込め砕石	再生クラッシュラン (RC40)	約 74m ³																																																																																	
4-(17) 基礎工 コンクリート基礎工 B (F)	再生クラッシュラン (RC40)	約 64m ³																																																																																	
5-(1) 用・排水溝 U ⁷ (GL2)・0.45・0.45(F)	再生クラッシュラン (RC40)	約 1m ³																																																																																	
18-(3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工 (t=10 cm)	再生クラッシュラン (RC40)	約 1110m ²	舗装再生便覧 (社) 日本道路協会																																																																																
18-(3) 簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t=5 cm)	表層用再生加熱 アスファルト混合物	約 1110m ²	舗装再生便覧 (社) 日本道路協会																																																																																
特-(5) 立坑土留工 A、B、C、D、E、F、G	再生クラッシュラン (RC40)	約 25m ³																																																																																	
単価表の項目	再生資材の種類	数量	摘要指針等																																																																																
2-(5) 盛土工 盛土工 B 1	建設発生土	約 600m ³	他工事発生土の流用 発生位置：164KP 付近																																																																																
4-(14) コンクリート ⁷ ロック積工 コンクリート ⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A	再生クラッシュラン (RC40)	約 7m ³																																																																																	
4-(14) コンクリート ⁷ ロック積工 大型コンクリート ⁷ ロック積み (練) 控 35 cm A	再生クラッシュラン (RC40)	約 68m ³																																																																																	
4-(16) 裏込め砕石	再生クラッシュラン (RC40)	約 74m ³																																																																																	
4-(17) 基礎工 コンクリート基礎工 B (F)	再生クラッシュラン (RC40)	約 64m ³																																																																																	
5-(1) 用・排水溝 U ⁷ (GL2)・0.30・0.30(F)	再生クラッシュラン (RC40)	約 1m ³																																																																																	
18-(3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工 (t=10 cm)	再生クラッシュラン (RC40)	約 1110m ²	舗装再生便覧 (社) 日本道路協会																																																																																
18-(3) 簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t=5 cm)	表層用再生加熱 アスファルト混合物	約 1110m ²	舗装再生便覧 (社) 日本道路協会																																																																																
特-(5) 立坑土留工 A、B、C、D、E、F、G	再生クラッシュラン (RC40)	約 25m ³																																																																																	

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対象	誤	正	備考																																										
<p>特記仕様書 24-3-1(1)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>作業内容</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">道路掘削 土砂 A</td> <td>1) 道路掘削(本線切土部)における土砂の掘削、積込み</td> <td rowspan="3">砂質土、レキまじりの砂質土</td> </tr> <tr> <td>2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～一般道(町道 06-41 号線・06-43 号線)を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、敷均し、盛土整形</td> </tr> <tr> <td>3) 仮置き場における土砂の掘削、積込み</td> </tr> <tr> <td>4) 仮置き土を押え盛土部へ運搬、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)</td> <td>仮置場;御所沢ヤード</td> </tr> <tr> <td>5) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">道路掘削 土砂(表土) A</td> <td>1) 道路掘削における土砂(表土)の掘削、積込み</td> <td rowspan="3">砂質土、レキまじりの砂質土</td> </tr> <tr> <td>2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～一般道(町道 06-41 号線・06-43 号線)を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、ばっ気、乾燥</td> </tr> <tr> <td>3) ばっ気、乾燥後の土砂と木根等との区分、土砂の敷均し、盛土整形</td> </tr> <tr> <td>4) 仮置き場における土砂の掘削、積込み</td> <td rowspan="3">仮置場;御所沢ヤード</td> </tr> <tr> <td>5) 仮置き土を押え盛土部へ運搬、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)</td> </tr> <tr> <td>6) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	作業内容	摘要	道路掘削 土砂 A	1) 道路掘削(本線切土部)における土砂の掘削、積込み	砂質土、レキまじりの砂質土	2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～一般道(町道 06-41 号線・06-43 号線)を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、敷均し、盛土整形	3) 仮置き場における土砂の掘削、積込み	4) 仮置き土を押え盛土部へ運搬、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)	仮置場;御所沢ヤード	5) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)		道路掘削 土砂(表土) A	1) 道路掘削における土砂(表土)の掘削、積込み	砂質土、レキまじりの砂質土	2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～一般道(町道 06-41 号線・06-43 号線)を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、ばっ気、乾燥	3) ばっ気、乾燥後の土砂と木根等との区分、土砂の敷均し、盛土整形	4) 仮置き場における土砂の掘削、積込み	仮置場;御所沢ヤード	5) 仮置き土を押え盛土部へ運搬、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)	6) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>作業内容</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">道路掘削 土砂 A</td> <td>1) 道路掘削(本線切土部)における土砂の掘削、積込み</td> <td rowspan="3">砂質土、レキまじりの砂質土</td> </tr> <tr> <td>2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4)を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、敷均し、盛土整形</td> </tr> <tr> <td>3) 仮置き場における土砂の掘削、積込み</td> </tr> <tr> <td>4) 仮置き土を押え盛土部へ運搬(本特記仕様書 1 3-1 に示す工事用道路番号 1 を通り、門型ラメンカルバート上部へ搬出)、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)</td> <td>仮置場;御所沢ヤード</td> </tr> <tr> <td>5) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">道路掘削 土砂(表土) A</td> <td>1) 道路掘削における土砂(表土)の掘削、積込み</td> <td rowspan="3">砂質土、レキまじりの砂質土</td> </tr> <tr> <td>2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4)を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、ばっ気、乾燥</td> </tr> <tr> <td>3) ばっ気、乾燥後の土砂と木根等との区分、土砂の敷均し、盛土整形</td> </tr> <tr> <td>4) 仮置き場における土砂の掘削、積込み</td> <td rowspan="3">仮置場;御所沢ヤード</td> </tr> <tr> <td>5) 仮置き土を押え盛土部へ運搬(本特記仕様書 1 3-1 に示す工事用道路番号 1 を通り、門型ラメンカルバート上部へ搬出)、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)</td> </tr> <tr> <td>6) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	作業内容	摘要	道路掘削 土砂 A	1) 道路掘削(本線切土部)における土砂の掘削、積込み	砂質土、レキまじりの砂質土	2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～ 工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4) を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、敷均し、盛土整形	3) 仮置き場における土砂の掘削、積込み	4) 仮置き土を押え盛土部へ運搬(本特記仕様書 1 3-1 に示す工事用道路番号 1 を通り、門型ラメンカルバート上部へ搬出)、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)	仮置場;御所沢ヤード	5) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)		道路掘削 土砂(表土) A	1) 道路掘削における土砂(表土)の掘削、積込み	砂質土、レキまじりの砂質土	2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～ 工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4) を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、ばっ気、乾燥	3) ばっ気、乾燥後の土砂と木根等との区分、土砂の敷均し、盛土整形	4) 仮置き場における土砂の掘削、積込み	仮置場;御所沢ヤード	5) 仮置き土を押え盛土部へ運搬(本特記仕様書 1 3-1 に示す工事用道路番号 1 を通り、門型ラメンカルバート上部へ搬出)、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)	6) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)	<p>訂正</p>
単価表の項目	作業内容	摘要																																											
道路掘削 土砂 A	1) 道路掘削(本線切土部)における土砂の掘削、積込み	砂質土、レキまじりの砂質土																																											
	2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～一般道(町道 06-41 号線・06-43 号線)を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、敷均し、盛土整形																																												
	3) 仮置き場における土砂の掘削、積込み																																												
	4) 仮置き土を押え盛土部へ運搬、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)	仮置場;御所沢ヤード																																											
	5) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)																																												
道路掘削 土砂(表土) A	1) 道路掘削における土砂(表土)の掘削、積込み	砂質土、レキまじりの砂質土																																											
	2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～一般道(町道 06-41 号線・06-43 号線)を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、ばっ気、乾燥																																												
	3) ばっ気、乾燥後の土砂と木根等との区分、土砂の敷均し、盛土整形																																												
	4) 仮置き場における土砂の掘削、積込み	仮置場;御所沢ヤード																																											
	5) 仮置き土を押え盛土部へ運搬、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)																																												
	6) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)																																												
単価表の項目	作業内容	摘要																																											
道路掘削 土砂 A	1) 道路掘削(本線切土部)における土砂の掘削、積込み	砂質土、レキまじりの砂質土																																											
	2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～ 工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4) を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、敷均し、盛土整形																																												
	3) 仮置き場における土砂の掘削、積込み																																												
	4) 仮置き土を押え盛土部へ運搬(本特記仕様書 1 3-1 に示す工事用道路番号 1 を通り、門型ラメンカルバート上部へ搬出)、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)	仮置場;御所沢ヤード																																											
	5) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)																																												
道路掘削 土砂(表土) A	1) 道路掘削における土砂(表土)の掘削、積込み	砂質土、レキまじりの砂質土																																											
	2) 掘削土を仮置場へ運搬[掘削箇所～更埴 I C・Uターン、更埴 I C～坂城 I C～ 工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4) を経由し、仮置場(御所沢ヤード)搬入]、ばっ気、乾燥																																												
	3) ばっ気、乾燥後の土砂と木根等との区分、土砂の敷均し、盛土整形																																												
	4) 仮置き場における土砂の掘削、積込み	仮置場;御所沢ヤード																																											
	5) 仮置き土を押え盛土部へ運搬(本特記仕様書 1 3-1 に示す工事用道路番号 1 を通り、門型ラメンカルバート上部へ搬出)、敷均し、締固め、含水量の調整(門型ラメンカルバート施工完了後に実施)																																												
	6) 押え盛土の締固めは下部路体相当の厚さ管理(図面上で示す「路体外盛土」)																																												
<p>特記仕様書 24-13-3(1)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type A)</td> <td>機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。 【御所沢橋 A 1・A 2 橋台、本線部の既設用排水溝・用排水管及び集水ます】</td> </tr> <tr> <td>構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type B)</td> <td>機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(無筋)を取壊すもの。 【本線部の既設用排水溝・集水ます、のり面工(ブロック積)及びコンクリートシール工】</td> </tr> <tr> <td>構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type C)</td> <td>人力施工(コンクリートブレーカー)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。 【御所沢橋 A 1・A 2 橋台】</td> </tr> <tr> <td>構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し (Type A)</td> <td>既設アスファルト舗装版(t=10 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む) 【御所沢橋の舗装及び本線部の舗装(表層)】</td> </tr> <tr> <td>構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type A)</td> <td>既設アスファルト緑石を機械施工により取壊すもの。 【本線部のアスファルト緑石】</td> </tr> <tr> <td>構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type B)</td> <td>既設アスファルト舗装版(t=15~40 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む) 【本線部の舗装(表層+基層)】</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type A)	機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。 【御所沢橋 A 1・A 2 橋台、本線部の既設用排水溝・用排水管及び集水ます】	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type B)	機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(無筋)を取壊すもの。 【本線部の既設用排水溝・集水ます、のり面工(ブロック積)及びコンクリートシール工】	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type C)	人力施工(コンクリートブレーカー)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。 【御所沢橋 A 1・A 2 橋台】	構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し (Type A)	既設アスファルト舗装版(t=10 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む) 【御所沢橋の舗装及び本線部の舗装(表層)】	構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type A)	既設アスファルト緑石を機械施工により取壊すもの。 【本線部のアスファルト緑石】	構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type B)	既設アスファルト舗装版(t=15~40 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む) 【本線部の舗装(表層+基層)】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type A)</td> <td>機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。【御所沢橋 A 1・A 2 橋台、本線部の既設用排水溝・用排水管及び集水ます】</td> <td>A 1 橋台搬出経路: 坂城 IC→電気室ヤードで本線流出→蓬平工事用道路→町道 06-41 号線→積込み→町道 06-41 号線→蓬平工事用道路→電気室ヤードから本線流入→更埴 IC A 2 橋台搬出経路: 工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4) 用排水構造物搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC</td> </tr> <tr> <td>構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type B)</td> <td>機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(無筋)を取壊すもの。 【本線部の既設用排水溝・集水ます、のり面工(ブロック積)及びコンクリートシール工】</td> <td>搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC</td> </tr> <tr> <td>構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type C)</td> <td>人力施工(コンクリートブレーカー)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。 【御所沢橋 A 1 橋台】</td> <td>A 1 橋台搬出経路: 坂城 IC→電気室ヤードで本線流出→蓬平工事用道路→町道 06-41 号線→積込み→町道 06-41 号線→蓬平工事用道路→電気室ヤードから本線流入→更埴 IC</td> </tr> <tr> <td>構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し (Type A)</td> <td>既設アスファルト舗装版(t=10 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む)【御所沢橋の舗装及び本線部の舗装(表層)】</td> <td>御所沢橋舗装搬出経路: 工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4) 本線部舗装搬出経路: 更埴 IC→施工ヤード→坂城 IC</td> </tr> <tr> <td>構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type A)</td> <td>既設アスファルト緑石を機械施工により取壊すもの。 【本線部のアスファルト緑石】</td> <td>搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC</td> </tr> <tr> <td>構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type B)</td> <td>既設アスファルト舗装版(t=15~40 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む)【本線部の舗装(表層+基層)】</td> <td>搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	備考	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type A)	機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。【御所沢橋 A 1・A 2 橋台、本線部の既設用排水溝・用排水管及び集水ます】	A 1 橋台搬出経路: 坂城 IC→電気室ヤードで本線流出→蓬平工事用道路→町道 06-41 号線→積込み→町道 06-41 号線→蓬平工事用道路→電気室ヤードから本線流入→更埴 IC A 2 橋台搬出経路: 工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4) 用排水構造物搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type B)	機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(無筋)を取壊すもの。 【本線部の既設用排水溝・集水ます、のり面工(ブロック積)及びコンクリートシール工】	搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type C)	人力施工(コンクリートブレーカー)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。 【御所沢橋 A 1 橋台】	A 1 橋台搬出経路: 坂城 IC→電気室ヤードで本線流出→蓬平工事用道路→町道 06-41 号線→積込み→町道 06-41 号線→蓬平工事用道路→電気室ヤードから本線流入→更埴 IC	構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し (Type A)	既設アスファルト舗装版(t=10 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む)【御所沢橋の舗装及び本線部の舗装(表層)】	御所沢橋舗装搬出経路: 工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4) 本線部舗装搬出経路: 更埴 IC→施工ヤード→坂城 IC	構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type A)	既設アスファルト緑石を機械施工により取壊すもの。 【本線部のアスファルト緑石】	搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC	構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type B)	既設アスファルト舗装版(t=15~40 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む)【本線部の舗装(表層+基層)】	搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC	<p>訂正</p>							
単価表の項目	区分内容																																												
構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type A)	機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。 【御所沢橋 A 1・A 2 橋台、本線部の既設用排水溝・用排水管及び集水ます】																																												
構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type B)	機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(無筋)を取壊すもの。 【本線部の既設用排水溝・集水ます、のり面工(ブロック積)及びコンクリートシール工】																																												
構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type C)	人力施工(コンクリートブレーカー)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。 【御所沢橋 A 1・A 2 橋台】																																												
構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し (Type A)	既設アスファルト舗装版(t=10 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む) 【御所沢橋の舗装及び本線部の舗装(表層)】																																												
構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type A)	既設アスファルト緑石を機械施工により取壊すもの。 【本線部のアスファルト緑石】																																												
構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type B)	既設アスファルト舗装版(t=15~40 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む) 【本線部の舗装(表層+基層)】																																												
単価表の項目	区分内容	備考																																											
構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type A)	機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。【御所沢橋 A 1・A 2 橋台、本線部の既設用排水溝・用排水管及び集水ます】	A 1 橋台搬出経路: 坂城 IC→電気室ヤードで本線流出→蓬平工事用道路→町道 06-41 号線→積込み→町道 06-41 号線→蓬平工事用道路→電気室ヤードから本線流入→更埴 IC A 2 橋台搬出経路: 工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4) 用排水構造物搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC																																											
構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type B)	機械施工(大型ブレーカー等)により既設コンクリート構造物(無筋)を取壊すもの。 【本線部の既設用排水溝・集水ます、のり面工(ブロック積)及びコンクリートシール工】	搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC																																											
構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し (Type C)	人力施工(コンクリートブレーカー)により既設コンクリート構造物(有筋)を取壊すもの。 【御所沢橋 A 1 橋台】	A 1 橋台搬出経路: 坂城 IC→電気室ヤードで本線流出→蓬平工事用道路→町道 06-41 号線→積込み→町道 06-41 号線→蓬平工事用道路→電気室ヤードから本線流入→更埴 IC																																											
構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し (Type A)	既設アスファルト舗装版(t=10 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む)【御所沢橋の舗装及び本線部の舗装(表層)】	御所沢橋舗装搬出経路: 工事用道路(本特記仕様書 1 3-1 に示す番号 1~4) 本線部舗装搬出経路: 更埴 IC→施工ヤード→坂城 IC																																											
構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type A)	既設アスファルト緑石を機械施工により取壊すもの。 【本線部のアスファルト緑石】	搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC																																											
構造物等取壊し アスファルト構造物取壊し (Type B)	既設アスファルト舗装版(t=15~40 cm)を機械施工により取壊すもの。(アスファルト舗装版の切断を含む)【本線部の舗装(表層+基層)】	搬出経路: 坂城 IC⇄施工ヤード⇄更埴 IC																																											

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考																																																		
<p>特記仕様書 24-14(1)</p>	<p>24-14 交通規制工 共通仕様書19-3の項目に次を追加する。 (1) 種 別 共通仕様書19-3-2「種別」に次の種別を追加する。</p>	<p>24-14 交通規制工 共通仕様書19-3の項目に次を追加する。 (1) 種 別 共通仕様書19-3-2「種別」に次の種別を追加する。</p>	<p>訂 正</p>																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>交通規制箇所</th> <th>交通規制内の工事内容</th> <th>規制時間*</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車線規制 L×N×M</td> <td>上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT</td> <td>道路掘削、盛土工、基礎材、種散布工、種吹付工、コンクリート吹付工、コンクリートブロック積工、裏込め砕石、基礎工、切土補強土工、用・排水溝、用・排水管、集水ます、マンホール、地下排水工、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、路盤準備工、粒状路盤工、アスファルト混合物、瀝青材散布工、切削オーバーレイ工、防護柵、路面標示工、視線誘導柵、距離標、緑石工、コンクリートシール工、構造物等取壊し、標識サポート工、撤去工、立坑土留工、縦断排水管推進工、排水管充填工、鋼管基礎杭工、仮設土留工、交通安全対策工</td> <td>7:00～18:00 (8:00～17:00)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>車線規制 L×N×M (夜)</td> <td>上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT</td> <td>鋼管基礎杭工の内、次の項目 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)A (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)B (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)C (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)D (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=14mm)A (夜)</td> <td>20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中央分離帯規制 L×N</td> <td>上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT</td> <td>コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、鋼管基礎杭工</td> <td>7:00～18:00 (8:00～17:00)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対面交通規制A</td> <td>上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT</td> <td>鋼構造物の輸送、鋼構造物の架設、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、はく落防止対策工、鋼構造物の防錆</td> <td>20:00【開始】～ 昼夜連続【60日間】 ～20:00【終了】</td> <td>本線巡回： 2時間に1回、点検を実施。 なお、巡回方法は巡回員2名、連絡車1台とする。</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	交通規制箇所	交通規制内の工事内容	規制時間*	備 考	車線規制 L×N×M	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	道路掘削、盛土工、基礎材、種散布工、種吹付工、コンクリート吹付工、コンクリートブロック積工、裏込め砕石、基礎工、切土補強土工、用・排水溝、用・排水管、集水ます、マンホール、地下排水工、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、路盤準備工、粒状路盤工、アスファルト混合物、瀝青材散布工、切削オーバーレイ工、防護柵、路面標示工、視線誘導柵、距離標、緑石工、コンクリートシール工、構造物等取壊し、標識サポート工、撤去工、立坑土留工、縦断排水管推進工、排水管充填工、鋼管基礎杭工、仮設土留工、交通安全対策工	7:00～18:00 (8:00～17:00)		車線規制 L×N×M (夜)	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	鋼管基礎杭工の内、次の項目 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)A (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)B (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)C (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)D (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=14mm)A (夜)	20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)		中央分離帯規制 L×N	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、鋼管基礎杭工	7:00～18:00 (8:00～17:00)		対面交通規制A	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	鋼構造物の輸送、鋼構造物の架設、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、はく落防止対策工、鋼構造物の防錆	20:00【開始】～ 昼夜連続【60日間】 ～20:00【終了】	本線巡回： 2時間に1回、点検を実施。 なお、巡回方法は巡回員2名、連絡車1台とする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>交通規制箇所</th> <th>交通規制内の工事内容</th> <th>規制時間*</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車線規制 L×N×M</td> <td>上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT</td> <td>道路掘削、盛土工、基礎材、種散布工、種吹付工、コンクリート吹付工、コンクリートブロック積工、裏込め砕石、基礎工、切土補強土工、用・排水溝、用・排水管、集水ます、マンホール、地下排水工、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、路盤準備工、粒状路盤工、アスファルト混合物、瀝青材散布工、切削オーバーレイ工、防護柵、路面標示工、視線誘導柵、距離標、緑石工、コンクリートシール工、構造物等取壊し、標識サポート工、撤去工、立坑土留工、縦断排水管推進工、排水管充填工、鋼管基礎杭工、仮設土留工、交通安全対策工</td> <td>7:00～18:00 (8:00～17:00)</td> <td>※1</td> </tr> <tr> <td>車線規制 L×N×M (夜)</td> <td>上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT</td> <td>鋼管基礎杭工の内、次の項目 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)A (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)B (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)C (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)D (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=14mm)A (夜)</td> <td>20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)</td> <td>※1</td> </tr> <tr> <td>中央分離帯規制 L×N</td> <td>上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT</td> <td>コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、鋼管基礎杭工</td> <td>7:00～18:00 (8:00～17:00)</td> <td>※1</td> </tr> <tr> <td>対面交通規制 A</td> <td>上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT (下り線)</td> <td>鋼構造物の輸送、鋼構造物の架設、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、はく落防止対策工、鋼構造物の防錆</td> <td>①20:00【開始】～ 昼夜連続 ～20:00【終了】 ②規制日数は提出された日数による。 ③※2【標準案60日】</td> <td>本線巡回(2時間に1回点検を実施(巡回方法は、交通監視員2名、連絡車1台とする。))及び本特記仕様書17-3に示す工事用車両出入口に配置する交通監視員A(2名)を含むものとする。 対面交通規制の渡り線部、両側に設置する置きガードレールはリース品(※3)とし、設置延長は約580m×2とする。(仮設防護柵設置及び撤去)</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	交通規制箇所	交通規制内の工事内容	規制時間*	備 考	車線規制 L×N×M	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	道路掘削、盛土工、基礎材、種散布工、種吹付工、コンクリート吹付工、コンクリートブロック積工、裏込め砕石、基礎工、切土補強土工、用・排水溝、用・排水管、集水ます、マンホール、地下排水工、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、路盤準備工、粒状路盤工、アスファルト混合物、瀝青材散布工、切削オーバーレイ工、防護柵、路面標示工、視線誘導柵、距離標、緑石工、コンクリートシール工、構造物等取壊し、標識サポート工、撤去工、立坑土留工、縦断排水管推進工、排水管充填工、鋼管基礎杭工、仮設土留工、交通安全対策工	7:00～18:00 (8:00～17:00)	※1	車線規制 L×N×M (夜)	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	鋼管基礎杭工の内、次の項目 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)A (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)B (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)C (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)D (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=14mm)A (夜)	20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)	※1	中央分離帯規制 L×N	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、鋼管基礎杭工	7:00～18:00 (8:00～17:00)	※1	対面交通規制 A	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT (下り線)	鋼構造物の輸送、鋼構造物の架設、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、はく落防止対策工、鋼構造物の防錆	①20:00【開始】～ 昼夜連続 ～20:00【終了】 ②規制日数は提出された日数による。 ③※2【標準案60日】	本線巡回(2時間に1回点検を実施(巡回方法は、交通監視員2名、連絡車1台とする。))及び本特記仕様書17-3に示す工事用車両出入口に配置する交通監視員A(2名)を含むものとする。 対面交通規制の渡り線部、両側に設置する置きガードレールはリース品(※3)とし、設置延長は約580m×2とする。(仮設防護柵設置及び撤去)	
単価表の項目	交通規制箇所	交通規制内の工事内容	規制時間*	備 考																																																	
車線規制 L×N×M	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	道路掘削、盛土工、基礎材、種散布工、種吹付工、コンクリート吹付工、コンクリートブロック積工、裏込め砕石、基礎工、切土補強土工、用・排水溝、用・排水管、集水ます、マンホール、地下排水工、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、路盤準備工、粒状路盤工、アスファルト混合物、瀝青材散布工、切削オーバーレイ工、防護柵、路面標示工、視線誘導柵、距離標、緑石工、コンクリートシール工、構造物等取壊し、標識サポート工、撤去工、立坑土留工、縦断排水管推進工、排水管充填工、鋼管基礎杭工、仮設土留工、交通安全対策工	7:00～18:00 (8:00～17:00)																																																		
車線規制 L×N×M (夜)	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	鋼管基礎杭工の内、次の項目 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)A (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)B (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)C (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)D (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=14mm)A (夜)	20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)																																																		
中央分離帯規制 L×N	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、鋼管基礎杭工	7:00～18:00 (8:00～17:00)																																																		
対面交通規制A	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	鋼構造物の輸送、鋼構造物の架設、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、はく落防止対策工、鋼構造物の防錆	20:00【開始】～ 昼夜連続【60日間】 ～20:00【終了】	本線巡回： 2時間に1回、点検を実施。 なお、巡回方法は巡回員2名、連絡車1台とする。																																																	
単価表の項目	交通規制箇所	交通規制内の工事内容	規制時間*	備 考																																																	
車線規制 L×N×M	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	道路掘削、盛土工、基礎材、種散布工、種吹付工、コンクリート吹付工、コンクリートブロック積工、裏込め砕石、基礎工、切土補強土工、用・排水溝、用・排水管、集水ます、マンホール、地下排水工、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、路盤準備工、粒状路盤工、アスファルト混合物、瀝青材散布工、切削オーバーレイ工、防護柵、路面標示工、視線誘導柵、距離標、緑石工、コンクリートシール工、構造物等取壊し、標識サポート工、撤去工、立坑土留工、縦断排水管推進工、排水管充填工、鋼管基礎杭工、仮設土留工、交通安全対策工	7:00～18:00 (8:00～17:00)	※1																																																	
車線規制 L×N×M (夜)	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	鋼管基礎杭工の内、次の項目 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)A (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)B (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)C (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=12mm)D (夜) 鋼管杭φ1.0m(t=14mm)A (夜)	20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)	※1																																																	
中央分離帯規制 L×N	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、鋼管基礎杭工	7:00～18:00 (8:00～17:00)	※1																																																	
対面交通規制 A	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT (下り線)	鋼構造物の輸送、鋼構造物の架設、継目工、コンクリート、型わく、鉄筋、交通安全対策工、はく落防止対策工、鋼構造物の防錆	①20:00【開始】～ 昼夜連続 ～20:00【終了】 ②規制日数は提出された日数による。 ③※2【標準案60日】	本線巡回(2時間に1回点検を実施(巡回方法は、交通監視員2名、連絡車1台とする。))及び本特記仕様書17-3に示す工事用車両出入口に配置する交通監視員A(2名)を含むものとする。 対面交通規制の渡り線部、両側に設置する置きガードレールはリース品(※3)とし、設置延長は約580m×2とする。(仮設防護柵設置及び撤去)																																																	

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤				正				備 考														
特記仕様書 24-14(1)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="488 180 607 343">対面交通規制B</td> <td data-bbox="607 180 913 343">上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT</td> <td data-bbox="913 180 1032 343">鋼構造物の輸送、 鋼構造物の架設、 縦目工、コンクリート、型わく、 鉄筋、交通安全対策工、 はく落防止対策工、 鋼構造物の防錆</td> <td data-bbox="1032 180 1137 343">20:00【開始】～ 昼夜連続【48日間】 ～20:00【終了】</td> <td data-bbox="1137 180 1220 343">本線巡回： 2時間に1回、 点検を実施。 なお、巡回方法 は巡回員2名、 連絡車1台と する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="488 343 607 938">夜間通行止</td> <td data-bbox="607 343 913 938">上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT</td> <td data-bbox="913 343 1032 938">既設跨道橋撤去工（切断・撤去・ 運搬） 【上信越自動車道】 ①(下り)本線・坂城IC [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ②坂城IC・下りONランプ（料金所側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ③坂城IC・下りONランプ（本線側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ④更埴JCT・ONランプ（長野側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ⑤更埴JCT・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] 【長野自動車道】 ⑥更埴IC・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ※夜間通行止時は、標識車及びラ ンパコーン等において、本線及び ランプ部の閉鎖箇所を設置・撤去 を実施する。</td> <td data-bbox="1032 343 1137 938">20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)</td> <td data-bbox="1137 343 1220 938">上信越自動車 道坂城IC～ 更埴JCT間 夜間通行止</td> </tr> </table>	対面交通規制B	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	鋼構造物の輸送、 鋼構造物の架設、 縦目工、コンクリート、型わく、 鉄筋、交通安全対策工、 はく落防止対策工、 鋼構造物の防錆	20:00【開始】～ 昼夜連続【48日間】 ～20:00【終了】	本線巡回： 2時間に1回、 点検を実施。 なお、巡回方法 は巡回員2名、 連絡車1台と する。	夜間通行止	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	既設跨道橋撤去工（切断・撤去・ 運搬） 【上信越自動車道】 ①(下り)本線・坂城IC [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ②坂城IC・下りONランプ（料金所側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ③坂城IC・下りONランプ（本線側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ④更埴JCT・ONランプ（長野側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ⑤更埴JCT・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] 【長野自動車道】 ⑥更埴IC・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ※夜間通行止時は、標識車及びラ ンパコーン等において、本線及び ランプ部の閉鎖箇所を設置・撤去 を実施する。	20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)	上信越自動車 道坂城IC～ 更埴JCT間 夜間通行止	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1296 180 1384 391">対面交通規制 B</td> <td data-bbox="1384 180 1480 391">上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT (上り線)</td> <td data-bbox="1480 180 1653 391">鋼構造物の輸送、 鋼構造物の架設、 縦目工、コンクリート、型わく、 鉄筋、交通安全対策工、 はく落防止対策工、 鋼構造物の防錆</td> <td data-bbox="1653 180 1771 391">①20:00【開始】～ 昼夜連続 ～20:00【終了】 ②規制日数は提出さ れた日数による。 ③※2【標準案48日】</td> <td data-bbox="1771 180 1944 391">本線巡回(2時間に1回点検を 実施(巡回方法は、交通監視員2名、 連絡車1台とする。))及び本特記 仕様書17-3に示す工事用車両出 入口に配置する交通監視員A(2 名)を含むものとする。 対面交通規制の渡り線部、両側に 設置する置きガードレールはリ ース品(※3)とし、設置延長は 約538m×2とする。(仮設防護柵 設置及び撤去)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1296 391 1384 890">夜間通行止</td> <td data-bbox="1384 391 1480 890">上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT</td> <td data-bbox="1480 391 1653 890">既設跨道橋撤去工（切断・撤去・ 運搬） 【上信越自動車道】 ①(下り)本線・坂城IC [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ②坂城IC・下りONランプ（料金所側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ③坂城IC・下りONランプ（本線側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ④更埴JCT・ONランプ（長野側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ⑤更埴JCT・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] 【長野自動車道】 ⑥更埴IC・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ※夜間通行止時は、標識車及びラ ンパコーン等において、本線及び ランプ部の閉鎖箇所を設置・撤去 を実施する。</td> <td data-bbox="1653 391 1771 890">20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)</td> <td data-bbox="1771 391 1944 890">上信越自動車道坂城IC～更埴 JCT間夜間通行止</td> </tr> </table>	対面交通規制 B	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT (上り線)	鋼構造物の輸送、 鋼構造物の架設、 縦目工、コンクリート、型わく、 鉄筋、交通安全対策工、 はく落防止対策工、 鋼構造物の防錆	①20:00【開始】～ 昼夜連続 ～20:00【終了】 ②規制日数は提出さ れた日数による。 ③※2【標準案48日】	本線巡回(2時間に1回点検を 実施(巡回方法は、交通監視員2名、 連絡車1台とする。))及び本特記 仕様書17-3に示す工事用車両出 入口に配置する交通監視員A(2 名)を含むものとする。 対面交通規制の渡り線部、両側に 設置する置きガードレールはリ ース品(※3)とし、設置延長は 約538m×2とする。(仮設防護柵 設置及び撤去)	夜間通行止	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	既設跨道橋撤去工（切断・撤去・ 運搬） 【上信越自動車道】 ①(下り)本線・坂城IC [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ②坂城IC・下りONランプ（料金所側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ③坂城IC・下りONランプ（本線側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ④更埴JCT・ONランプ（長野側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ⑤更埴JCT・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] 【長野自動車道】 ⑥更埴IC・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ※夜間通行止時は、標識車及びラ ンパコーン等において、本線及び ランプ部の閉鎖箇所を設置・撤去 を実施する。	20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)	上信越自動車道坂城IC～更埴 JCT間夜間通行止	訂 正
対面交通規制B	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	鋼構造物の輸送、 鋼構造物の架設、 縦目工、コンクリート、型わく、 鉄筋、交通安全対策工、 はく落防止対策工、 鋼構造物の防錆	20:00【開始】～ 昼夜連続【48日間】 ～20:00【終了】	本線巡回： 2時間に1回、 点検を実施。 なお、巡回方法 は巡回員2名、 連絡車1台と する。																			
夜間通行止	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	既設跨道橋撤去工（切断・撤去・ 運搬） 【上信越自動車道】 ①(下り)本線・坂城IC [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ②坂城IC・下りONランプ（料金所側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ③坂城IC・下りONランプ（本線側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ④更埴JCT・ONランプ（長野側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ⑤更埴JCT・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] 【長野自動車道】 ⑥更埴IC・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ※夜間通行止時は、標識車及びラ ンパコーン等において、本線及び ランプ部の閉鎖箇所を設置・撤去 を実施する。	20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)	上信越自動車 道坂城IC～ 更埴JCT間 夜間通行止																			
対面交通規制 B	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT (上り線)	鋼構造物の輸送、 鋼構造物の架設、 縦目工、コンクリート、型わく、 鉄筋、交通安全対策工、 はく落防止対策工、 鋼構造物の防錆	①20:00【開始】～ 昼夜連続 ～20:00【終了】 ②規制日数は提出さ れた日数による。 ③※2【標準案48日】	本線巡回(2時間に1回点検を 実施(巡回方法は、交通監視員2名、 連絡車1台とする。))及び本特記 仕様書17-3に示す工事用車両出 入口に配置する交通監視員A(2 名)を含むものとする。 対面交通規制の渡り線部、両側に 設置する置きガードレールはリ ース品(※3)とし、設置延長は 約538m×2とする。(仮設防護柵 設置及び撤去)																			
夜間通行止	上信越自動車道 坂城 IC ～更埴 JCT	既設跨道橋撤去工（切断・撤去・ 運搬） 【上信越自動車道】 ①(下り)本線・坂城IC [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ②坂城IC・下りONランプ（料金所側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ③坂城IC・下りONランプ（本線側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ④更埴JCT・ONランプ（長野側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ⑤更埴JCT・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] 【長野自動車道】 ⑥更埴IC・ONランプ（松本側） [標識車1台、交通監視員1人、交 通誘導警備員1人] ※夜間通行止時は、標識車及びラ ンパコーン等において、本線及び ランプ部の閉鎖箇所を設置・撤去 を実施する。	20:00～翌7:00 (21:00～翌6:00)	上信越自動車道坂城IC～更埴 JCT間夜間通行止																			
<p>※上表の規制時間とは、1回当たりとして検測する交通規制工のうち、規制設置開始（標識設置開始）から規制撤去完了（標識撤去完了）までの時間である。なお、()内は、交通規制内の施工可能時間を示すものとする。</p> <p>受注者の責によらず、交通規制箇所及び交通規制内の作業可能時間が大幅に変更となった場合は、これらに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p>																							
<p>※1 上表の規制時間とは、1回当たりとして検測する交通規制工のうち、規制設置開始（標識設置開始）から規制撤去完了（標識撤去完了）までの時間である。なお、()内は、交通規制内の施工可能時間を示すものとする。</p> <p>受注者の責によらず、交通規制箇所及び交通規制内の作業可能時間が大幅に変更となった場合は、これらに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p> <p>※2 対面交通規制A及びBの規制日数については、予定日数（標準案）を示したものであるため、契約単価の算出にあたっては提案された規制日数によるものとする。</p> <p>※3 置きガードレールについては、本特記仕様書24-26-3に示す仮設防護柵の規格の製品とし、調達地域は愛知県とする。</p>																							

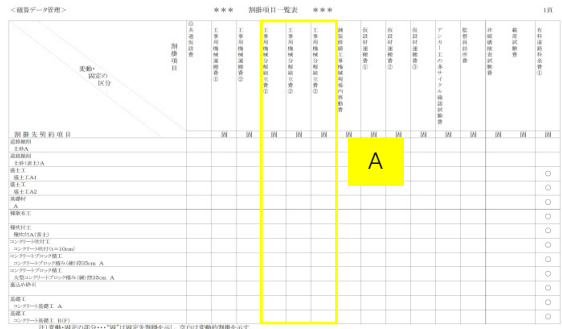
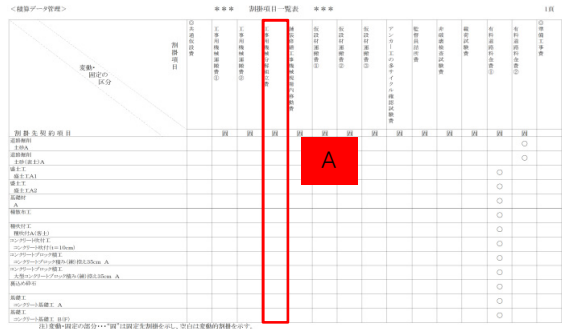
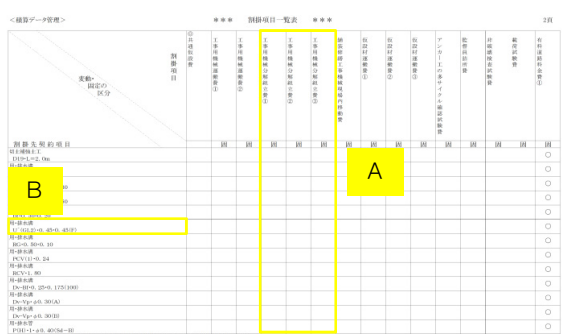
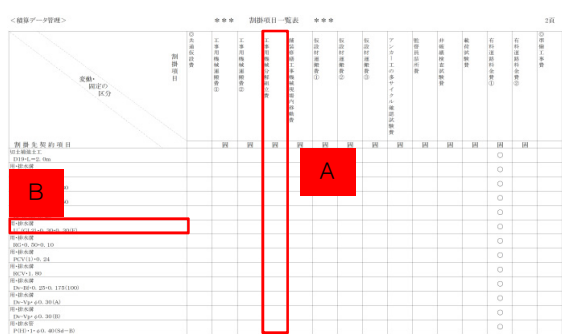
(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考																																																										
<p>特記仕様書 24-14(2)</p>	<p>(2) 支 払 共通仕様書19-3-5「支払」に次を追加する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19-(1) 交通規制工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>車線規制 L×N×M(夜)</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>対面交通規制 A</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>対面交通規制 B</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>夜間通行止</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	検測の単位	19-(1) 交通規制工		車線規制 L×N×M(夜)	回	対面交通規制 A	回	対面交通規制 B	回	夜間通行止	回	<p>(2) 交通規制計画 受注者は、工事着手前に道路保全要領(路上作業編)に基づく他、設計図書及び監督員の指示に従い、具体的な交通規制の実施内容、安全対策、緊急時対応等について、施工計画書に記載し監督員に提出するものとする。また、対面交通規制については、交通規制計画に基づき、あらかじめ事前計画書を監督員に提出するものとする。 なお、監督員が追加の安全対策等を指示した場合、これに要する費用については、監督員と受注者で協議し定めるものとする。 また、受注者は、交通規制工実施報告書(様式第26号)を作成し、監督員に提出するものとする。</p> <p>(3) 数量の検測 交通規制工の数量の検測は、監督員が認めた設計数量(回又は式)で行うものとする。 なお、交通規制工の1回又は式とは、基地等での準備から基地等に帰着後の跡片付けまでをいう。</p> <p>(4) 支 払 交通規制工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1回又は1式当たりの契約単価で行うものとする。 この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行う交通規制の設置、保守及び撤去に要する材料・労力・機械器具(貸与機械の場合は、現場修理及び年間機械管理費、及び燃料、油脂)、対面交通規制における置きガードレールの設置・撤去、本線巡回点検及び交通監視員等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19-(1) 交通規制工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>車線規制 L×N×M(夜)</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>対面交通規制 A</td> <td>式</td> </tr> <tr> <td>対面交通規制 B</td> <td>式</td> </tr> <tr> <td>夜間通行止</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	検測の単位	19-(1) 交通規制工		車線規制 L×N×M(夜)	回	対面交通規制 A	式	対面交通規制 B	式	夜間通行止	回	<p>訂 正</p>																																		
単価表の項目	検測の単位																																																												
19-(1) 交通規制工																																																													
車線規制 L×N×M(夜)	回																																																												
対面交通規制 A	回																																																												
対面交通規制 B	回																																																												
夜間通行止	回																																																												
単価表の項目	検測の単位																																																												
19-(1) 交通規制工																																																													
車線規制 L×N×M(夜)	回																																																												
対面交通規制 A	式																																																												
対面交通規制 B	式																																																												
夜間通行止	回																																																												
<p>特記仕様書 24-15(1)</p>	<p>24-15 交通保安要員 共通仕様書19-4の項目に次を追加する。</p> <p>(1) 種 別 共通仕様書19-4-2「種別」に次の種別を追加する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>配置場所</th> <th>配置人数</th> <th>配置時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">交通保安要員 交通監視員A</td> <td>上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT</td> <td>車線規制：1人(4人)</td> <td>8:00～17:00</td> </tr> <tr> <td>交通規制(車線規制、中央分離帯規制、対面交通規制)内の工事車両出入口及び車両誘導</td> <td>中央分離帯規制：2人</td> <td>8:00～17:00</td> </tr> <tr> <td></td> <td>対面交通規制：2人</td> <td>8:00～17:00</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">交通保安要員 交通監視員A(夜)</td> <td>上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT</td> <td>車線規制(夜)：1人</td> <td>21:00～翌6:00</td> </tr> <tr> <td>交通規制(車線規制(夜)、対面交通規制、夜間通行止)内の工事車両出入口及び車両誘導</td> <td>対面交通規制：2人</td> <td>21:00～翌6:00</td> </tr> <tr> <td></td> <td>夜間通行止：6人</td> <td>21:00～翌6:00</td> </tr> <tr> <td>交通保安要員 交通誘導警備員B</td> <td>町道06-41号線・06-43号線</td> <td>2人</td> <td>8:00～17:00</td> </tr> <tr> <td>交通保安要員 交通誘導警備員B(夜)</td> <td>上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT 交通規制(夜間通行止)内の車両誘導</td> <td>6人</td> <td>21:00～翌6:00</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	配置場所	配置人数	配置時間	交通保安要員 交通監視員A	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT	車線規制：1人(4人)	8:00～17:00	交通規制(車線規制、中央分離帯規制、対面交通規制)内の工事車両出入口及び車両誘導	中央分離帯規制：2人	8:00～17:00		対面交通規制：2人	8:00～17:00	交通保安要員 交通監視員A(夜)	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT	車線規制(夜)：1人	21:00～翌6:00	交通規制(車線規制(夜)、対面交通規制、夜間通行止)内の工事車両出入口及び車両誘導	対面交通規制：2人	21:00～翌6:00		夜間通行止：6人	21:00～翌6:00	交通保安要員 交通誘導警備員B	町道06-41号線・06-43号線	2人	8:00～17:00	交通保安要員 交通誘導警備員B(夜)	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT 交通規制(夜間通行止)内の車両誘導	6人	21:00～翌6:00	<p>24-15 交通保安要員 共通仕様書19-4の項目に次を追加する。</p> <p>(1) 種 別 共通仕様書19-4-2「種別」に次の種別を追加する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>配置場所</th> <th>配置人数</th> <th>配置時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">交通保安要員 交通監視員A</td> <td>上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT</td> <td>車線規制：1人(4人)</td> <td>8:00～17:00</td> </tr> <tr> <td>交通規制(車線規制、中央分離帯規制)内の工事車両出入口及び車両誘導</td> <td>中央分離帯規制：2人</td> <td>8:00～17:00</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">交通保安要員 交通監視員A(夜)</td> <td>上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT</td> <td>車線規制(夜)：1人</td> <td>21:00～翌6:00</td> </tr> <tr> <td>交通規制(車線規制(夜)、夜間通行止)内の工事車両出入口及び車両誘導</td> <td>夜間通行止：6人</td> <td>21:00～翌6:00</td> </tr> <tr> <td>交通保安要員 交通誘導警備員B</td> <td>町道06-41号線・06-43号線 御所沢橋撤去箇所(上流及び下流側に各1名配置し車両誘導)</td> <td>2人</td> <td>8:00～17:00</td> </tr> <tr> <td>交通保安要員 交通誘導警備員B(夜)</td> <td>上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT 交通規制(夜間通行止)内の車両誘導</td> <td>6人</td> <td>21:00～翌6:00</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	配置場所	配置人数	配置時間	交通保安要員 交通監視員A	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT	車線規制：1人(4人)	8:00～17:00	交通規制(車線規制、中央分離帯規制)内の工事車両出入口及び車両誘導	中央分離帯規制：2人	8:00～17:00	交通保安要員 交通監視員A(夜)	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT	車線規制(夜)：1人	21:00～翌6:00	交通規制(車線規制(夜)、夜間通行止)内の工事車両出入口及び車両誘導	夜間通行止：6人	21:00～翌6:00	交通保安要員 交通誘導警備員B	町道06-41号線・06-43号線 御所沢橋撤去箇所(上流及び下流側に各1名配置し車両誘導)	2人	8:00～17:00	交通保安要員 交通誘導警備員B(夜)	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT 交通規制(夜間通行止)内の車両誘導	6人	21:00～翌6:00	<p>訂 正</p>
単価表の項目	配置場所	配置人数	配置時間																																																										
交通保安要員 交通監視員A	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT	車線規制：1人(4人)	8:00～17:00																																																										
	交通規制(車線規制、中央分離帯規制、対面交通規制)内の工事車両出入口及び車両誘導	中央分離帯規制：2人	8:00～17:00																																																										
		対面交通規制：2人	8:00～17:00																																																										
交通保安要員 交通監視員A(夜)	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT	車線規制(夜)：1人	21:00～翌6:00																																																										
	交通規制(車線規制(夜)、対面交通規制、夜間通行止)内の工事車両出入口及び車両誘導	対面交通規制：2人	21:00～翌6:00																																																										
		夜間通行止：6人	21:00～翌6:00																																																										
交通保安要員 交通誘導警備員B	町道06-41号線・06-43号線	2人	8:00～17:00																																																										
交通保安要員 交通誘導警備員B(夜)	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT 交通規制(夜間通行止)内の車両誘導	6人	21:00～翌6:00																																																										
単価表の項目	配置場所	配置人数	配置時間																																																										
交通保安要員 交通監視員A	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT	車線規制：1人(4人)	8:00～17:00																																																										
	交通規制(車線規制、中央分離帯規制)内の工事車両出入口及び車両誘導	中央分離帯規制：2人	8:00～17:00																																																										
交通保安要員 交通監視員A(夜)	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT	車線規制(夜)：1人	21:00～翌6:00																																																										
	交通規制(車線規制(夜)、夜間通行止)内の工事車両出入口及び車両誘導	夜間通行止：6人	21:00～翌6:00																																																										
交通保安要員 交通誘導警備員B	町道06-41号線・06-43号線 御所沢橋撤去箇所(上流及び下流側に各1名配置し車両誘導)	2人	8:00～17:00																																																										
交通保安要員 交通誘導警備員B(夜)	上信越自動車道 坂城IC～更埴JCT 交通規制(夜間通行止)内の車両誘導	6人	21:00～翌6:00																																																										


(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考								
<p>特記仕様書 24-25-3</p>	<p>24-25-3 施 工 既設跨道橋撤去工の施工は、設計図書及び監督員の指示に従って、夜間通行止を実施し、御所沢ヤードに多軸式特殊台車による運搬（一次仮置き）後、御所沢ヤード内での解体・切断作業完了後、処分するものとする。 なお、既設跨道橋の撤去作業計画については、図面（附帯工）の「15. 既設跨道橋撤去工（その1）～（その9）」によるものとする。</p>	<p>24-25-3 施 工 (1) 既設跨道橋撤去工の施工は、設計図書及び監督員の指示に従って、夜間通行止を実施し、御所沢ヤードに多軸式特殊台車による運搬（一次仮置き）後、御所沢ヤード内での解体・切断作業完了後、処分するものとする。 なお、既設跨道橋の撤去作業計画については、図面（附帯工）の「15. 既設跨道橋撤去工（その1）～（その9）」によるものとする。 (2) 構造物掘削による発生土については、現地はねつけによる処理とする。</p>	<p>訂 正</p>								
<p>特記仕様書 24-28(1) 共通仮設費</p>	<table border="1" data-bbox="488 408 1137 587"> <tr> <td data-bbox="488 408 667 464">工事用機械分解組立費①</td> <td data-bbox="667 408 1039 464">仮設土留工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="488 464 667 536">工事用機械分解組立費②</td> <td data-bbox="667 464 1039 536">鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="488 536 667 587">工事用機械分解組立費③</td> <td data-bbox="667 536 1039 587">鋼管基礎杭工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td> </tr> </table>	工事用機械分解組立費①	仮設土留工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費②	鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費③	鋼管基礎杭工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	<table border="1" data-bbox="1294 408 1944 485"> <tr> <td data-bbox="1294 408 1473 485">工事用機械分解組立費</td> <td data-bbox="1473 408 1845 485">鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td> </tr> </table>	工事用機械分解組立費	鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	<p>訂 正</p>
工事用機械分解組立費①	仮設土留工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。										
工事用機械分解組立費②	鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。										
工事用機械分解組立費③	鋼管基礎杭工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。										
工事用機械分解組立費	鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。										
<p>特記仕様書 25-2</p>	<p>25-2 設計図書の変更及び追加について 次に示す事項については、現在関係機関と協議中であり、関連する工事の設計内容を変更する可能性があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取ると共に、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は監督員と受注者で協議して定めるものとする。 (1) 押え盛土形状の変更に関する追加 (2) 別途発注者にて行う地質調査結果に伴う杭長の見直しに関する変更 (3) 門型ラーメンカルバート継ぎ目部の防水対策に関する追加 (4) 交通規制工（車線規制、中央分離帯規制、対面交通規制、夜間通行止）において警察協議等による規制方法及び期間の変更に関する追加 (5) 広報用看板、横断幕及び懸垂幕等の設置及び撤去に関する追加 (6) 既設標識の撤去及び移設等に関する追加 (7) 対面交通規制（昼夜連続規制）実施のための渋滞対策に関する追加 (8) 立入防止柵の追加（町道協議） (9) 既設地下排水工の流末処理等に関する追加 (10) 通信管路工の追加 (11) 工用地内の伐開除根により発生した木材の処分に関する追加 (12) 御所沢橋の地覆部管路の移設等に関する追加 (13) 工用地の安全対策に関する追加 (14) 舗装止水テープに関する追加 (15) のり面の動態観測工に関する追加</p>	<p>25-2 設計図書の変更及び追加について 次に示す事項については、現在関係機関と協議中であり、関連する工事の設計内容を変更する可能性があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取ると共に、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は監督員と受注者で協議して定めるものとする。 (1) 押え盛土形状の変更に関する追加 (2) 別途発注者にて行う地質調査結果に伴う杭長の見直しに関する変更 (3) 門型ラーメンカルバート継ぎ目部の防水対策に関する追加 (4) 交通規制工（車線規制、中央分離帯規制、対面交通規制、夜間通行止）において警察協議等による規制方法及び期間の変更に関する追加 (5) 広報用看板、横断幕及び懸垂幕等の設置及び撤去に関する追加 (6) 既設標識の撤去及び移設等に関する追加 (7) 対面交通規制（昼夜連続規制）実施のための渋滞対策に関する追加 (8) 立入防止柵の追加（町道協議） (9) 既設地下排水工の流末処理等に関する追加 (10) 管路工（通信・照明等）の追加 (11) 工用地内の伐開除根により発生した木材の処分に関する追加 (12) 御所沢橋の地覆部管路の移設等に関する追加 (13) 工用地の安全対策に関する追加 (14) 舗装止水テープに関する追加 (15) のり面の動態観測工に関する追加</p>	<p>訂 正</p>								

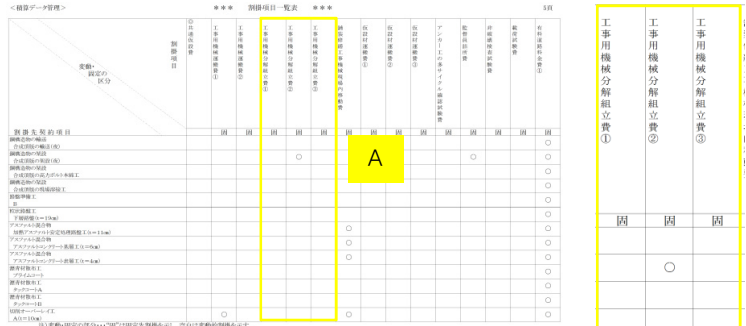
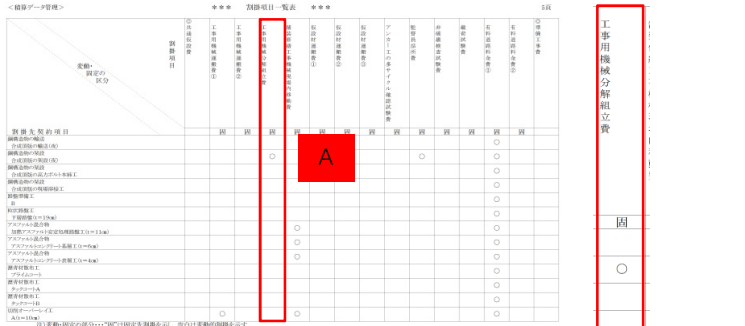
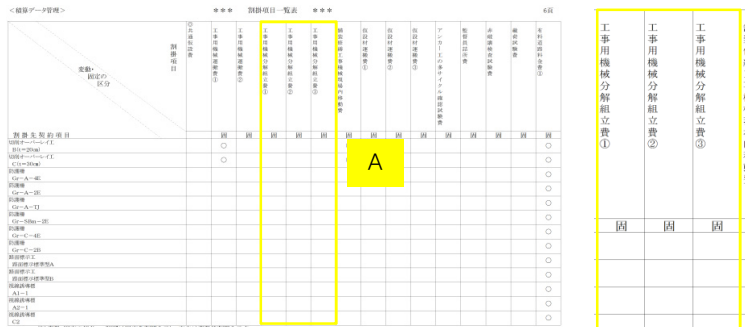
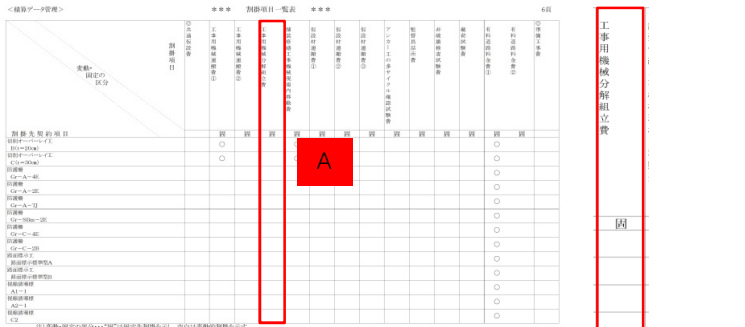
(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 1頁</p>	 <p>A部拡大:</p>	 <p>A部拡大:</p>	<p>訂 正</p>
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 2頁</p>	 <p>A部拡大:</p> <p>B部拡大: 用・排水溝 U (GL2)・0.45・0.45(F)</p>	 <p>A部拡大:</p> <p>B部拡大: 用・排水溝 U (GL2)・0.30・0.30(F)</p>	<p>訂 正</p>

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対象	誤	正	備考
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 3頁</p>	<p><積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 3頁</p>  <p>A部拡大:</p>	<p><積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 3頁</p>  <p>A部拡大:</p>	<p>訂正</p>
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 4頁</p>	<p><積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 4頁</p>  <p>A部拡大:</p>	<p><積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 4頁</p>  <p>A部拡大:</p>	<p>訂正</p>

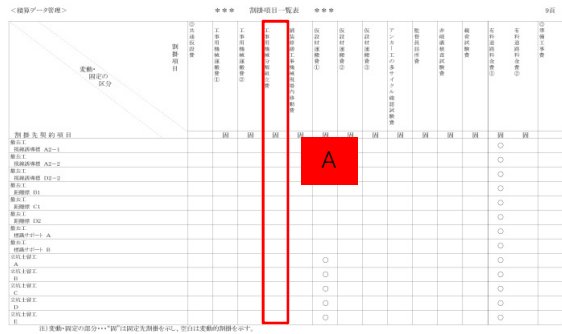
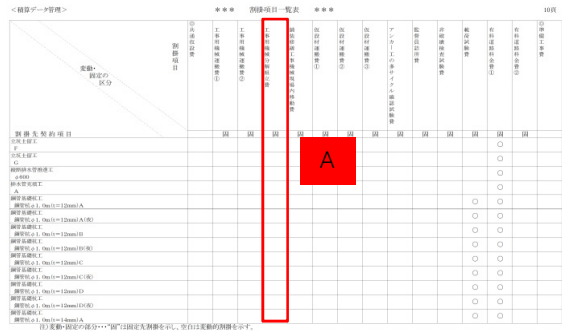
(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対象	誤	正	備考
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 5頁</p>	<p><種別データベース管理> *** 割掛項目一覧表 *** 5頁</p>  <p>A部拡大:</p>	<p><種別データベース管理> *** 割掛項目一覧表 *** 5頁</p>  <p>A部拡大:</p>	<p>訂正</p>
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 6頁</p>	<p><種別データベース管理> *** 割掛項目一覧表 *** 6頁</p>  <p>A部拡大:</p>	<p><種別データベース管理> *** 割掛項目一覧表 *** 6頁</p>  <p>A部拡大:</p>	<p>訂正</p>

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 7頁</p>	<p><積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 7頁</p> <p>工事用機械分解組立費① 工事用機械分解組立費② 工事用機械分解組立費③</p> <p>固 固 固</p> <p>A部拡大:</p>	<p><積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 7頁</p> <p>工事用機械分解組立費</p> <p>固</p> <p>A部拡大:</p>	<p>訂 正</p>
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 8頁</p>	<p><積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 8頁</p> <p>工事用機械分解組立費① 工事用機械分解組立費② 工事用機械分解組立費③</p> <p>固 固 固</p> <p>A部拡大:</p>	<p><積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 8頁</p> <p>工事用機械分解組立費</p> <p>固</p> <p>A部拡大:</p>	<p>訂 正</p>

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 9頁</p>	<p><繰掛データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 9頁</p>  <p>工事用機械分解組立費① 工事用機械分解組立費② 工事用機械分解組立費③</p> <p>A部拡大:</p>	<p><繰掛データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 9頁</p>  <p>工事用機械分解組立費</p> <p>A部拡大:</p>	<p>訂 正</p>
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 10頁</p>	<p><繰掛データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 10頁</p>  <p>工事用機械分解組立費① 工事用機械分解組立費② 工事用機械分解組立費③</p> <p>A部拡大:</p>	<p><繰掛データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 10頁</p>  <p>工事用機械分解組立費</p> <p>A部拡大:</p>	<p>訂 正</p>

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対象
割掛対象表
割掛項目一覧表 11頁

誤

<積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 11頁

A部拡大:

正

<積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 11頁

A部拡大:

備考
訂正

割掛対象表
割掛項目一覧表 12頁

誤

<積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 12頁

A部拡大:

正

<積算データ管理> *** 割掛項目一覧表 *** 12頁

A部拡大:

備考
訂正

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 14頁</p>	<p><積算データ管理> *** 別掛項目一覧表 *** 14頁</p>  <p>割掛先契約項目 切土補強土工 D19×L=2.0m 用・排水溝 Pnl.0.30×0.30 Pnl.(S2)・0.30×0.30 用・排水溝 Pnl.(S2)・0.60×0.60 用・排水溝 Pnl.0.30×0.20 用・排水溝 U(GL2)・0.45・0.45(F)</p> <p>A部拡大: 用・排水溝 U(GL2)・0.45・0.45(F)</p>	<p><積算データ管理> *** 別掛項目一覧表 *** 14頁</p>  <p>割掛先契約項目 切土補強土工 D19×L=2.0m 用・排水溝 Pnl.0.30×0.30 Pnl.(S2)・0.30×0.30 用・排水溝 Pnl.(S2)・0.60×0.60 用・排水溝 Pnl.0.30×0.20 用・排水溝 U(GL2)・0.30・0.30(F)</p> <p>A部拡大: 用・排水溝 U(GL2)・0.30・0.30(F)</p>	<p>訂 正</p>
<p>割掛対象表 割掛項目一覧表 26頁</p>	<p><積算データ管理> *** 別掛項目一覧表 *** 26頁</p>  <p>割掛先契約項目 切土補強土工 D19×L=2.0m 用・排水溝 Pnl.0.30×0.30 Pnl.(S2)・0.30×0.30 用・排水溝 Pnl.(S2)・0.60×0.60 用・排水溝 Pnl.0.30×0.20 用・排水溝 U(GL2)・0.45・0.45(F)</p> <p>A部拡大: 用・排水溝 U(GL2)・0.45・0.45(F)</p>	<p><積算データ管理> *** 別掛項目一覧表 *** 26頁</p>  <p>割掛先契約項目 切土補強土工 D19×L=2.0m 用・排水溝 Pnl.0.30×0.30 Pnl.(S2)・0.30×0.30 用・排水溝 Pnl.(S2)・0.60×0.60 用・排水溝 Pnl.0.30×0.20 用・排水溝 U(GL2)・0.30・0.30(F)</p> <p>A部拡大: 用・排水溝 U(GL2)・0.30・0.30(F)</p>	<p>訂 正</p>

(工事名) 上信越自動車道 蓬平工事

対 象	誤	正	備 考																
<p>割掛対象表参考内訳書 工所用機械分解組立費①、②、③</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="450 180 573 252">工所用機械分解組立費①</td> <td data-bbox="573 180 840 252">仮設土留工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="840 180 1131 252">777レンクルン25 t 吊：1台-1往復 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心</td> <td data-bbox="1131 180 1178 252"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 252 573 323">工所用機械分解組立費②</td> <td data-bbox="573 252 840 323">鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="840 252 1131 323">777レンクルン50 t 吊：2台-1往復 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心</td> <td data-bbox="1131 252 1178 323"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 323 573 427">工所用機械分解組立費③</td> <td data-bbox="573 323 840 427">鋼管基礎杭工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="840 323 1131 427">777レンクルン25 t 吊：1台-1往復 (試験施工) 777レンクルン25 t 吊：3台-1往復 (本体施工) 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心</td> <td data-bbox="1131 323 1178 427"></td> </tr> </table>	工所用機械分解組立費①	仮設土留工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	777レンクルン25 t 吊：1台-1往復 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心		工所用機械分解組立費②	鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	777レンクルン50 t 吊：2台-1往復 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心		工所用機械分解組立費③	鋼管基礎杭工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	777レンクルン25 t 吊：1台-1往復 (試験施工) 777レンクルン25 t 吊：3台-1往復 (本体施工) 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1258 180 1382 252">工所用機械分解組立費</td> <td data-bbox="1382 180 1648 252">鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="1648 180 1939 252">777レンクルン100 t 吊：2台 777レンクルン120 t 吊：2台 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心</td> <td data-bbox="1939 180 1986 252"></td> </tr> </table>	工所用機械分解組立費	鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	777レンクルン100 t 吊：2台 777レンクルン120 t 吊：2台 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心		<p>訂 正</p>
工所用機械分解組立費①	仮設土留工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	777レンクルン25 t 吊：1台-1往復 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心																	
工所用機械分解組立費②	鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	777レンクルン50 t 吊：2台-1往復 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心																	
工所用機械分解組立費③	鋼管基礎杭工施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	777レンクルン25 t 吊：1台-1往復 (試験施工) 777レンクルン25 t 吊：3台-1往復 (本体施工) 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心																	
工所用機械分解組立費	鋼構造物の架設施工時に使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または資料に要する費用をいう。	777レンクルン100 t 吊：2台 777レンクルン120 t 吊：2台 運搬距離 27.5km (片道) 長野県庁～現場重中心																	
<p>割掛対象表参考内訳書 有料道路料金費①</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="450 483 573 1153"> <p>有料道路料金費①</p> <p>特記仕様書 2.4-1.4 に示す、交通規制内の工事内容のうち、以下の項目の施工において必要となる坂城 I C～更地 I C 間 (往復) の通行料金の費用をいう。</p> <p>・盛土工 ・基礎材 ・種散布工 ・種吹付工 ・コンクリート吹付工 ・コンクリートアロク精工 ・裏込め砕石 ・基礎工 ・切土補強土工 ・用・排水溝 ・用・排水管 ・集水ます ・マンホール ・地下排水工 ・継目工 ・コンクリート ・型わく ・鉄筋 ・鋼構造物の防錆 ・鋼構造物の輸送 ・鋼構造物の架設 ・路盤準備工 ・粒状路盤工 ・7.5mm 混合物 ・選青材散布工 ・切削オーバーレイ工 ・防護柵 ・路面標示工 ・視線誘導標 ・距離標 ・緑石工 ・コンクリート工 ・構造物等取壊し ・はく落防止対策工 ・標識サポート工 ・撤去工 ・立坑土留工 ・縦断排水管推進工 ・排水管充填工 ・鋼管基礎杭工 ・交通安全対策工</p> </td> <td data-bbox="573 483 840 1153"> <p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,436 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 12,422m (仮設防護柵) 252 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p> </td> <td data-bbox="840 483 1131 1153"> <p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,413 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 11,412m (仮設防護柵)、310 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p> </td> <td data-bbox="1131 483 1178 1153"></td> </tr> </table>	<p>有料道路料金費①</p> <p>特記仕様書 2.4-1.4 に示す、交通規制内の工事内容のうち、以下の項目の施工において必要となる坂城 I C～更地 I C 間 (往復) の通行料金の費用をいう。</p> <p>・盛土工 ・基礎材 ・種散布工 ・種吹付工 ・コンクリート吹付工 ・コンクリートアロク精工 ・裏込め砕石 ・基礎工 ・切土補強土工 ・用・排水溝 ・用・排水管 ・集水ます ・マンホール ・地下排水工 ・継目工 ・コンクリート ・型わく ・鉄筋 ・鋼構造物の防錆 ・鋼構造物の輸送 ・鋼構造物の架設 ・路盤準備工 ・粒状路盤工 ・7.5mm 混合物 ・選青材散布工 ・切削オーバーレイ工 ・防護柵 ・路面標示工 ・視線誘導標 ・距離標 ・緑石工 ・コンクリート工 ・構造物等取壊し ・はく落防止対策工 ・標識サポート工 ・撤去工 ・立坑土留工 ・縦断排水管推進工 ・排水管充填工 ・鋼管基礎杭工 ・交通安全対策工</p>	<p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,436 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 12,422m (仮設防護柵) 252 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p>	<p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,413 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 11,412m (仮設防護柵)、310 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p>		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1258 483 1382 1153"> <p>有料道路料金費①</p> <p>特記仕様書 2.4-1.4 に示す、交通規制内の工事内容のうち、以下の項目の施工において必要となる坂城 I C～更地 I C 間 (往復) の通行料金の費用をいう。</p> <p>・盛土工 ・基礎材 ・種散布工 ・種吹付工 ・コンクリート吹付工 ・コンクリートアロク精工 ・裏込め砕石 ・基礎工 ・切土補強土工 ・用・排水溝 ・用・排水管 ・集水ます ・マンホール ・地下排水工 ・継目工 ・コンクリート ・型わく ・鉄筋 ・鋼構造物の防錆 ・鋼構造物の輸送 ・鋼構造物の架設 ・路盤準備工 ・粒状路盤工 ・7.5mm 混合物 ・選青材散布工 ・切削オーバーレイ工 ・防護柵 ・路面標示工 ・視線誘導標 ・距離標 ・緑石工 ・コンクリート工 ・構造物等取壊し ・はく落防止対策工 ・標識サポート工 ・撤去工 ・立坑土留工 ・縦断排水管推進工 ・排水管充填工 ・鋼管基礎杭工 ・交通安全対策工</p> </td> <td data-bbox="1382 483 1648 1153"> <p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,413 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 11,412m (仮設防護柵)、310 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p> </td> <td data-bbox="1648 483 1939 1153"> <p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,413 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 11,412m (仮設防護柵)、310 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p> </td> <td data-bbox="1939 483 1986 1153"></td> </tr> </table>	<p>有料道路料金費①</p> <p>特記仕様書 2.4-1.4 に示す、交通規制内の工事内容のうち、以下の項目の施工において必要となる坂城 I C～更地 I C 間 (往復) の通行料金の費用をいう。</p> <p>・盛土工 ・基礎材 ・種散布工 ・種吹付工 ・コンクリート吹付工 ・コンクリートアロク精工 ・裏込め砕石 ・基礎工 ・切土補強土工 ・用・排水溝 ・用・排水管 ・集水ます ・マンホール ・地下排水工 ・継目工 ・コンクリート ・型わく ・鉄筋 ・鋼構造物の防錆 ・鋼構造物の輸送 ・鋼構造物の架設 ・路盤準備工 ・粒状路盤工 ・7.5mm 混合物 ・選青材散布工 ・切削オーバーレイ工 ・防護柵 ・路面標示工 ・視線誘導標 ・距離標 ・緑石工 ・コンクリート工 ・構造物等取壊し ・はく落防止対策工 ・標識サポート工 ・撤去工 ・立坑土留工 ・縦断排水管推進工 ・排水管充填工 ・鋼管基礎杭工 ・交通安全対策工</p>	<p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,413 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 11,412m (仮設防護柵)、310 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p>	<p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,413 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 11,412m (仮設防護柵)、310 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p>		<p>訂 正</p>								
<p>有料道路料金費①</p> <p>特記仕様書 2.4-1.4 に示す、交通規制内の工事内容のうち、以下の項目の施工において必要となる坂城 I C～更地 I C 間 (往復) の通行料金の費用をいう。</p> <p>・盛土工 ・基礎材 ・種散布工 ・種吹付工 ・コンクリート吹付工 ・コンクリートアロク精工 ・裏込め砕石 ・基礎工 ・切土補強土工 ・用・排水溝 ・用・排水管 ・集水ます ・マンホール ・地下排水工 ・継目工 ・コンクリート ・型わく ・鉄筋 ・鋼構造物の防錆 ・鋼構造物の輸送 ・鋼構造物の架設 ・路盤準備工 ・粒状路盤工 ・7.5mm 混合物 ・選青材散布工 ・切削オーバーレイ工 ・防護柵 ・路面標示工 ・視線誘導標 ・距離標 ・緑石工 ・コンクリート工 ・構造物等取壊し ・はく落防止対策工 ・標識サポート工 ・撤去工 ・立坑土留工 ・縦断排水管推進工 ・排水管充填工 ・鋼管基礎杭工 ・交通安全対策工</p>	<p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,436 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 12,422m (仮設防護柵) 252 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p>	<p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,413 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 11,412m (仮設防護柵)、310 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p>																	
<p>有料道路料金費①</p> <p>特記仕様書 2.4-1.4 に示す、交通規制内の工事内容のうち、以下の項目の施工において必要となる坂城 I C～更地 I C 間 (往復) の通行料金の費用をいう。</p> <p>・盛土工 ・基礎材 ・種散布工 ・種吹付工 ・コンクリート吹付工 ・コンクリートアロク精工 ・裏込め砕石 ・基礎工 ・切土補強土工 ・用・排水溝 ・用・排水管 ・集水ます ・マンホール ・地下排水工 ・継目工 ・コンクリート ・型わく ・鉄筋 ・鋼構造物の防錆 ・鋼構造物の輸送 ・鋼構造物の架設 ・路盤準備工 ・粒状路盤工 ・7.5mm 混合物 ・選青材散布工 ・切削オーバーレイ工 ・防護柵 ・路面標示工 ・視線誘導標 ・距離標 ・緑石工 ・コンクリート工 ・構造物等取壊し ・はく落防止対策工 ・標識サポート工 ・撤去工 ・立坑土留工 ・縦断排水管推進工 ・排水管充填工 ・鋼管基礎杭工 ・交通安全対策工</p>	<p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,413 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 11,412m (仮設防護柵)、310 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p>	<p>■盛土工 12,806 m² ■基礎材 201 m² ■種散布工 613 m² ■種吹付工 94 m² ■コンクリート吹付工 362 m² ■コンクリートアロク精工 311 m² ■裏込め砕石 74 m² ■基礎工 81m ■切土補強土工 162 本 ■用・排水溝 542m ■用・排水管 347m ■集水ます 35 箇所 ■マンホール 7 箇所 ■地下排水工 536m ■継目工 907m (I 型)、1,631 m² (目地材) ■コンクリート 20,507 m² ■型わく 14,742 m² ■鉄筋 1,760.32 t ■鋼構造物の防錆 800 m² ■鋼構造物の輸送 2,815.34 t ■鋼構造物の架設 2,836.13 t (高力材・日本精工含む)、 2,409m (現場溶接工) ■路盤準備工 2,767 m² ■粒状路盤工 2,892 m² ■7.5mm 混合物 13,801 m² ■選青材散布工 5,575 t ■切削オーバーレイ工 3,419 m² ■防護柵 652m ■路面標示工 2,584m ■視線誘導標 68 基 ■距離標 10 枚 ■緑石工 1,503m ■コンクリート工 1,028 m² ■構造物等取壊し 1,413 m² ■はく落防止対策工 4,076 m² ■標識サポート工 4 箇所 ■撤去工 21 枚 (グリーン)、910m (防護柵)、45 基 (視線誘導標)、10 枚 (距離標)、 8 箇所 (標識サポート) ■立坑土留工 7 箇所 ■縦断排水管推進工 299m ■排水管充填工 475m ■鋼管基礎杭工 612 本 ■交通安全対策工 11,412m (仮設防護柵)、310 本 (車線分離標)、18 箇所 (緩衝装置)</p>																	